

アメイジングパーク明治公園 調査報告レポート

2023.2.24



調査実施概要

アメイジングパーク明治公園期間(2022/10/19~2022/10/30)中、学生による観察調査を実施しました。調査日時は10/20(木)、10/22(土)、10/26(水)、10/27(木)、10/29(土)の計5日間で、調査時間は8時台から18時台まで、1時間おきに実施しました(ただし、12~14時は30分おきに実施)。調査は、人々の滞り場所・属性・行動・利用什器等を知る“居場所調査”と、公園内を通過する人々の移動経路を知る“経路調査”の二つの調査を実施しました。居場所調査は毎時00~10分、経路調査は毎時15~30分に行いました。

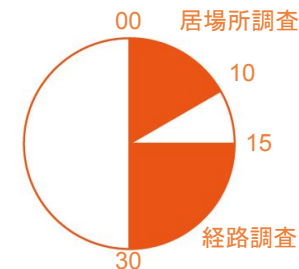
調査日時 / 調査方法

- 10/20(木): 什器+キッチンカー
- 10/22(土): 什器+シャボン玉イベント
- 10/26(水): 什器+健康イベント
- 10/27(木): 什器
- 10/29(土): 什器+遊び道具

- 毎時00~10分: 居場所調査
- 毎時15~30分: 経路調査

▶ 1セット

8時台~18時台で1時間おきに実施(12~14時は30分おきに実施)し、1セットを一日計14回実施



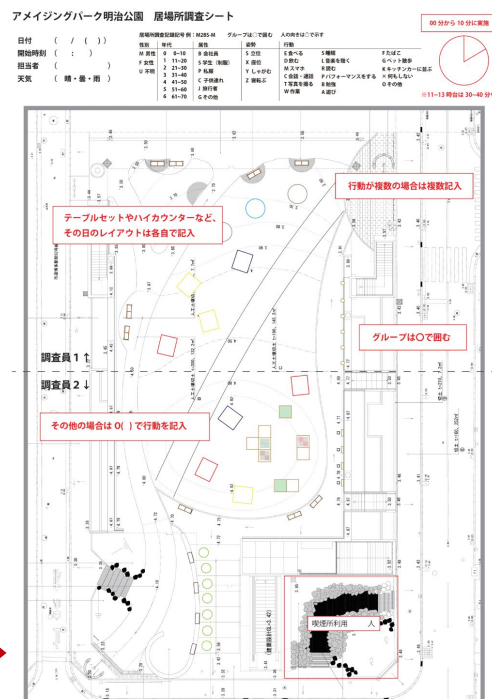
① 居場所調査

10分間、公園内の滞留者を地図にプロットし、下記の項目を同時に調査する。

調査項目

- 性別
- 年代
- 服装
- 集団
- 姿勢
- 行動
- 利用什器

居場所調査シート

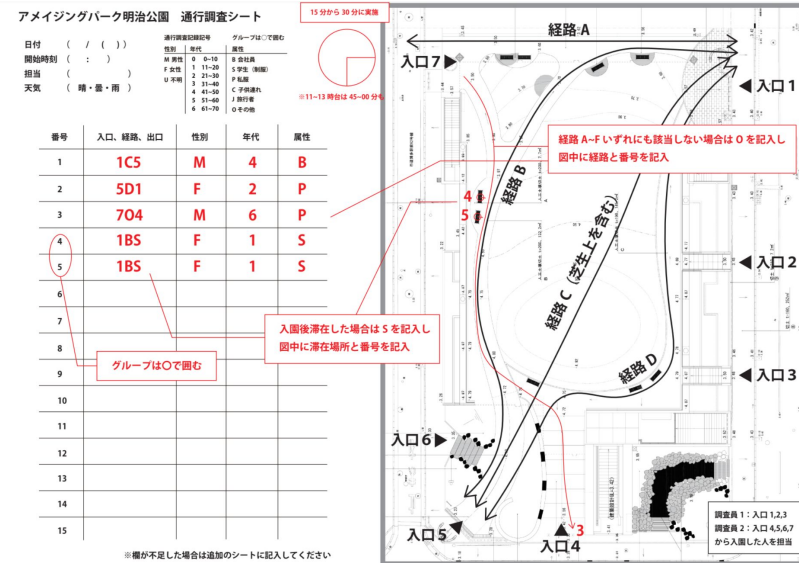


② 経路調査

15分間、公園内を通過した人々の移動経路をトレースし、下記の項目を同時に調査する

調査項目

- 出入口
- 性別
- 年代
- 服装
- 集団

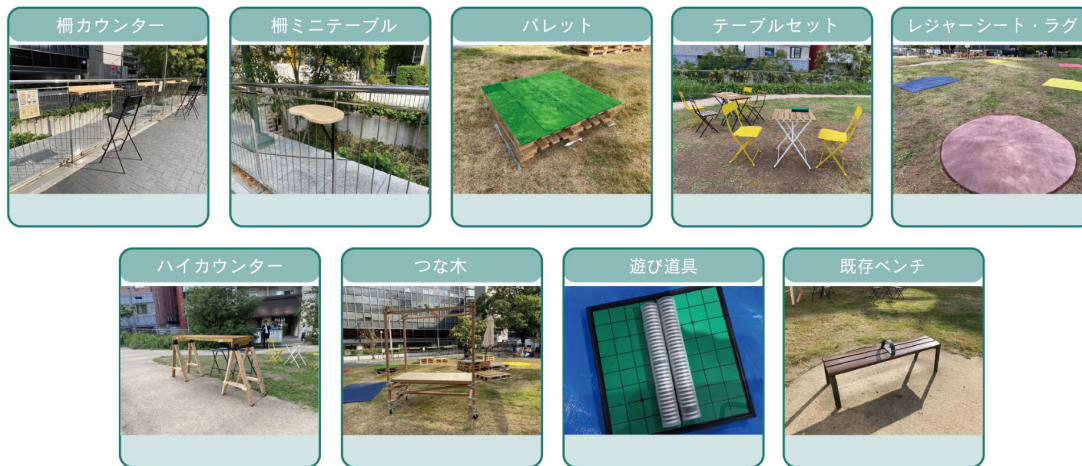


経路調査シート

調査実施概要

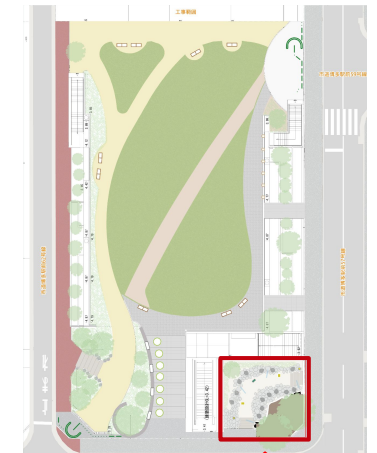
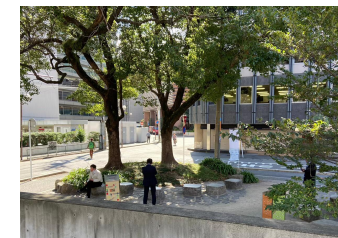
① 設置した什器(屋外家具)

多様な利用シーンに対応した什器を選択しました。



② 仮設喫煙所の様子

JTさんご協力のもと、学生がデザインした灰皿を台設置しました。



設置場所

③ 開催したイベントの様子



キッチンカー



シャボン玉イベント

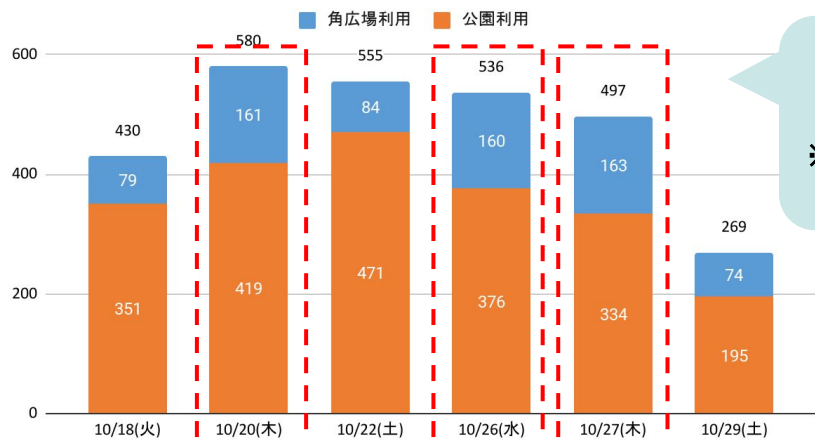


体験型アートイベント



健康チェックイベント

□ 喫煙所の設置により、平日は角広場が密に利用されました

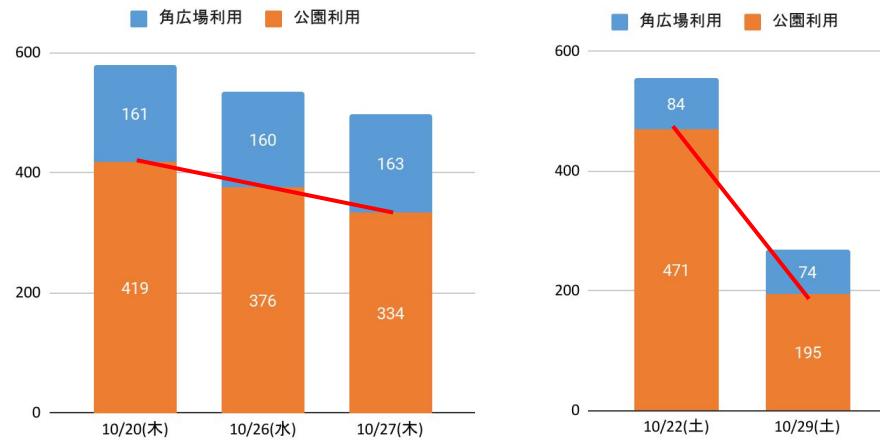


平日は、実験前に比べて利用者数が増加しました。
※休日の平常時は3月に調査予定

実験開始前 ← 実験期間中 →

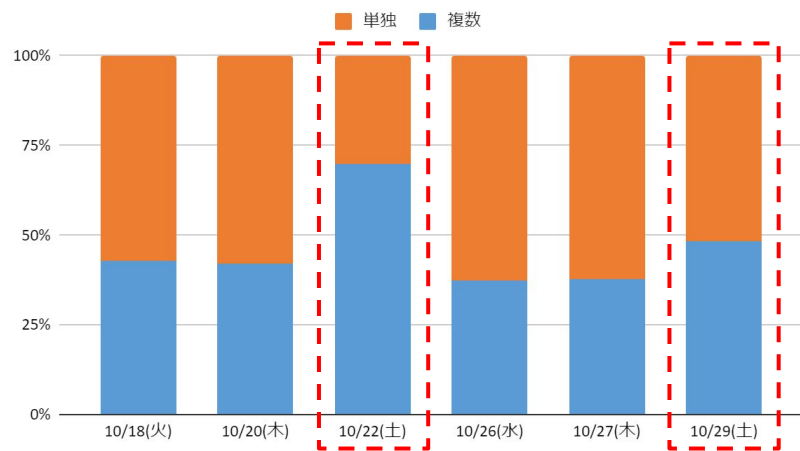
什器のみの平日も、平常時よりは利用者数が増えました。

□ イベント開催日は多くの方が公園を訪れました



↑ 什器 + キッチンカー
↑ 什器 + 健康イベント
↑ 什器
↑ 什器 + シャボン玉
↑ 什器

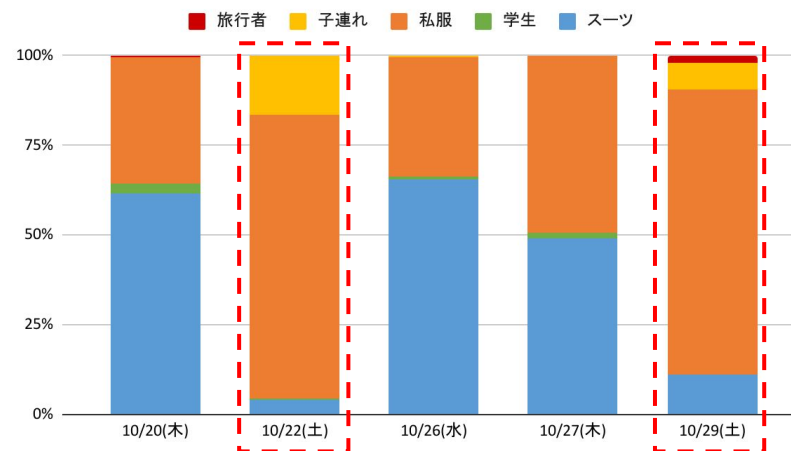
□ 休日はグループでの利用、子連れの方が多く見られました



過去の調査を見ると、2018年以降グループ利用は増加し続けています。

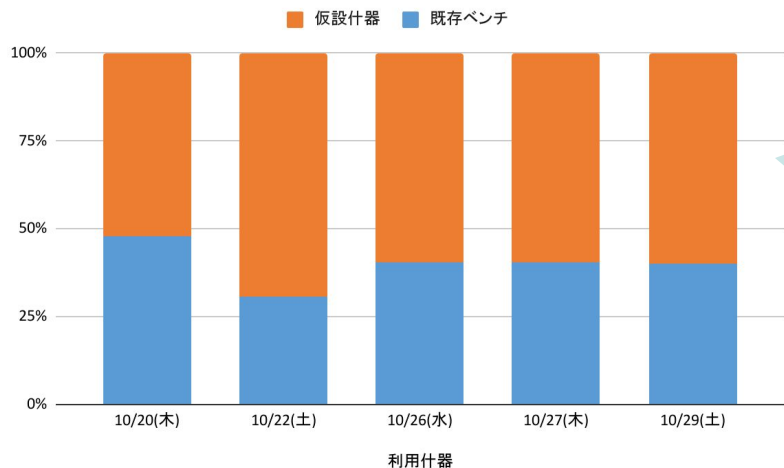
実験開始前 ← 実験期間中 →

イベント実施日は特に、子連れの方が多く訪れました。



↑ 休日イベント有り
↑ 休日イベント無し

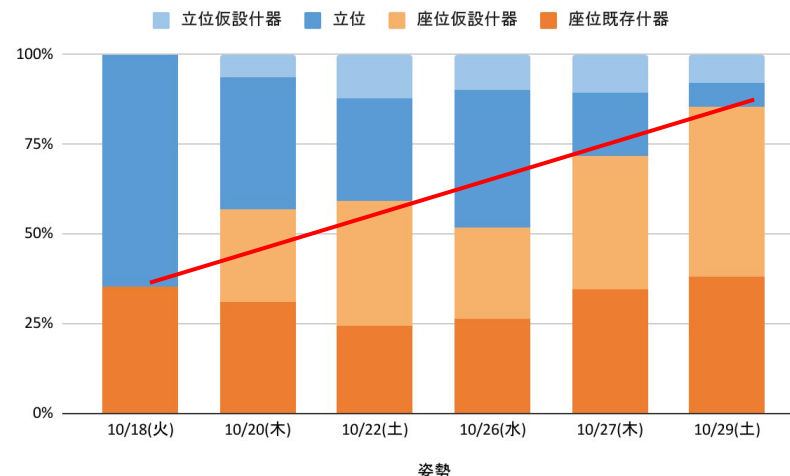
仮設什器の利用が多く見られました



いずれの日も、仮設什器の利用が半数を占めています。

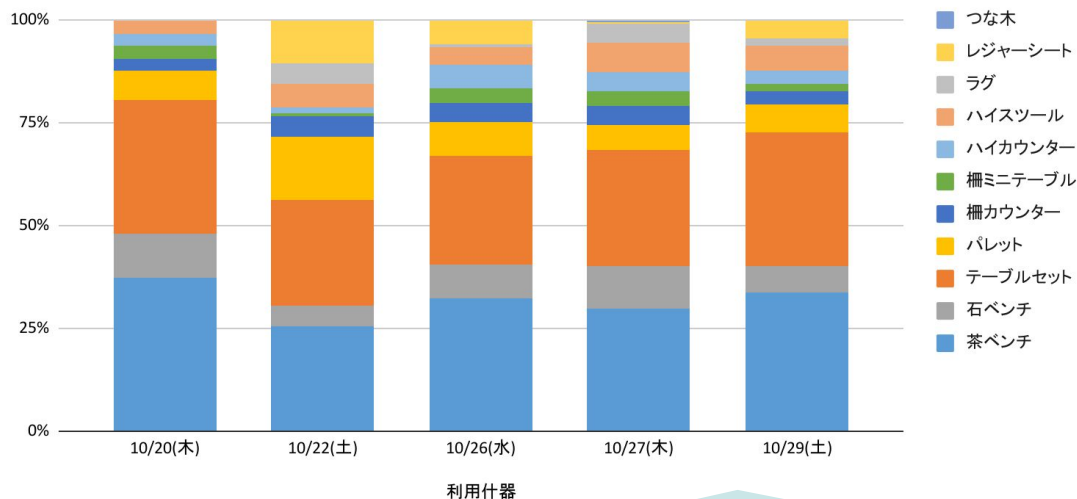
利用什器の内訳は...?

什器の設置により、座位利用の割合が増えました



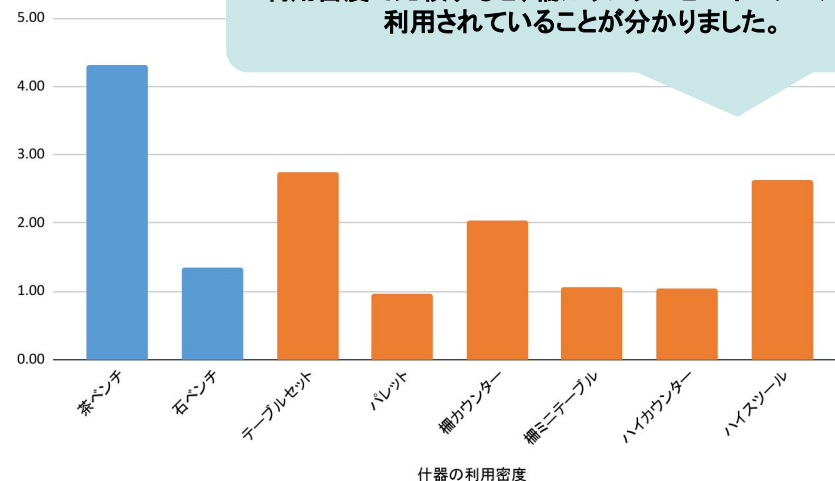
実験開始前 (黒い矢印) vs 実験期間中 (赤い矢印) の姿勢変化を示しています。

仮設什器では、テーブルセットや柵カウンターが多く利用されていました



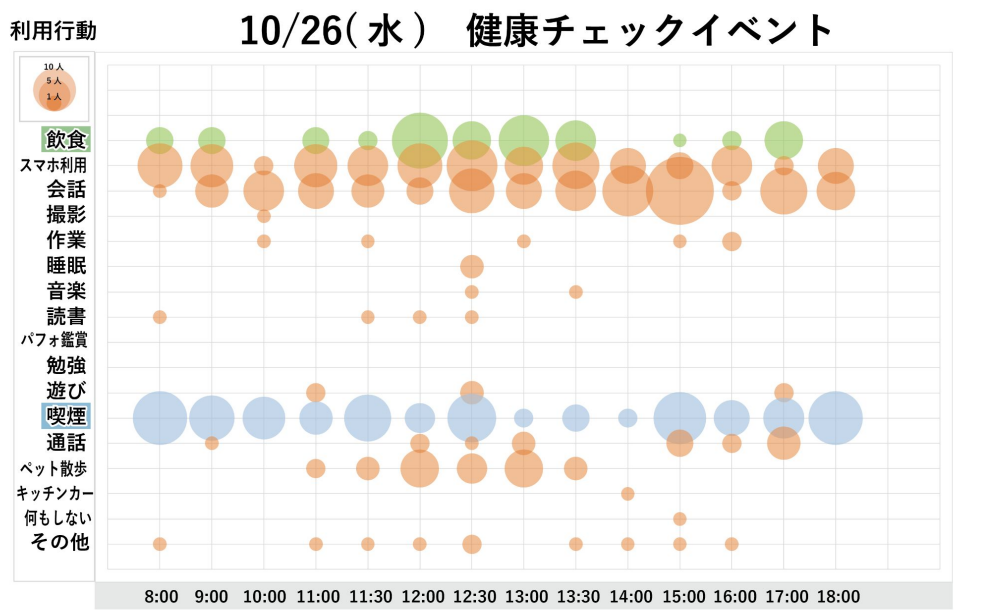
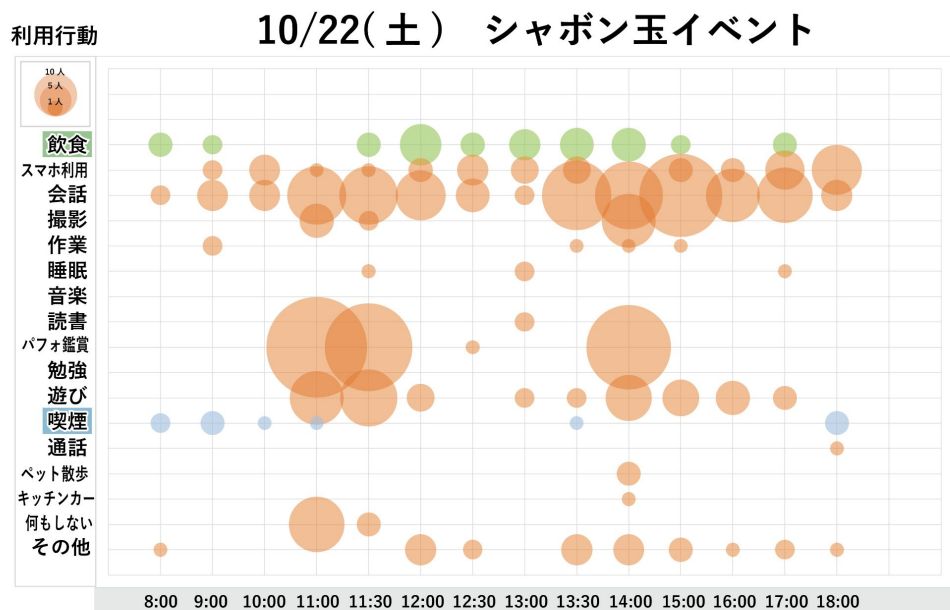
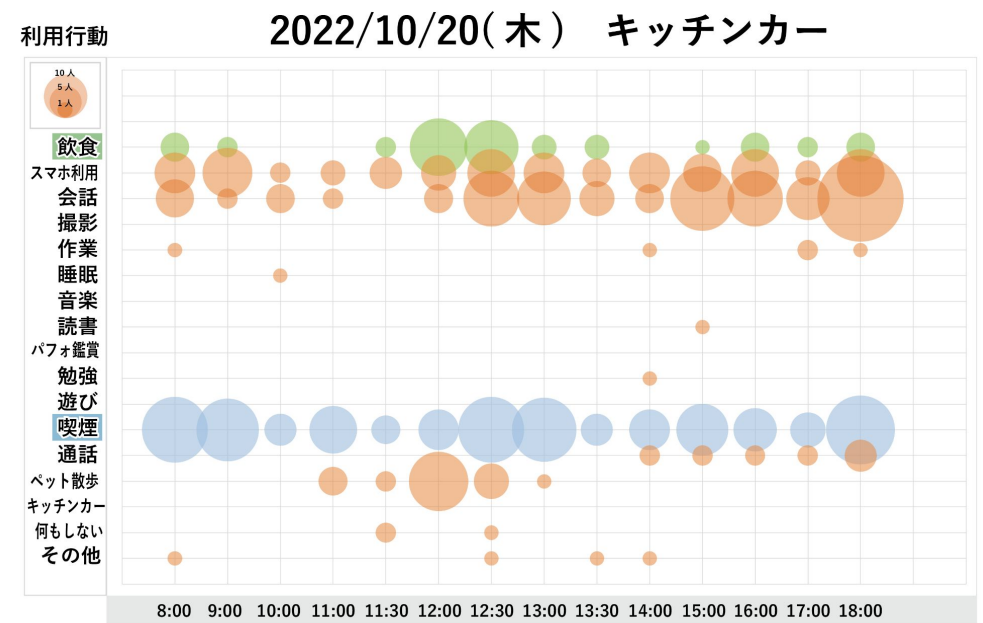
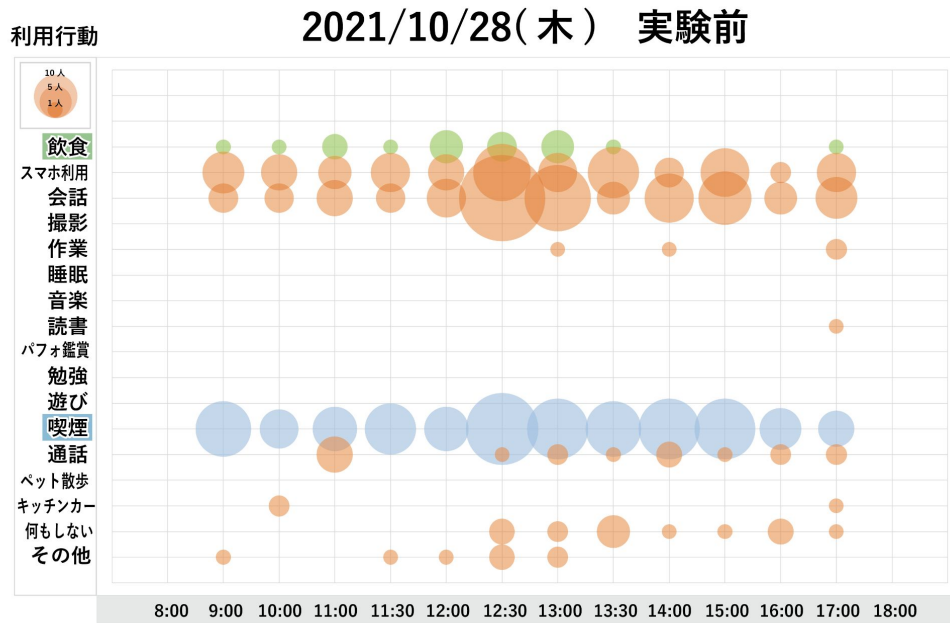
実験後半になるにつれ、多様な什器の利用が見られるようになりました。

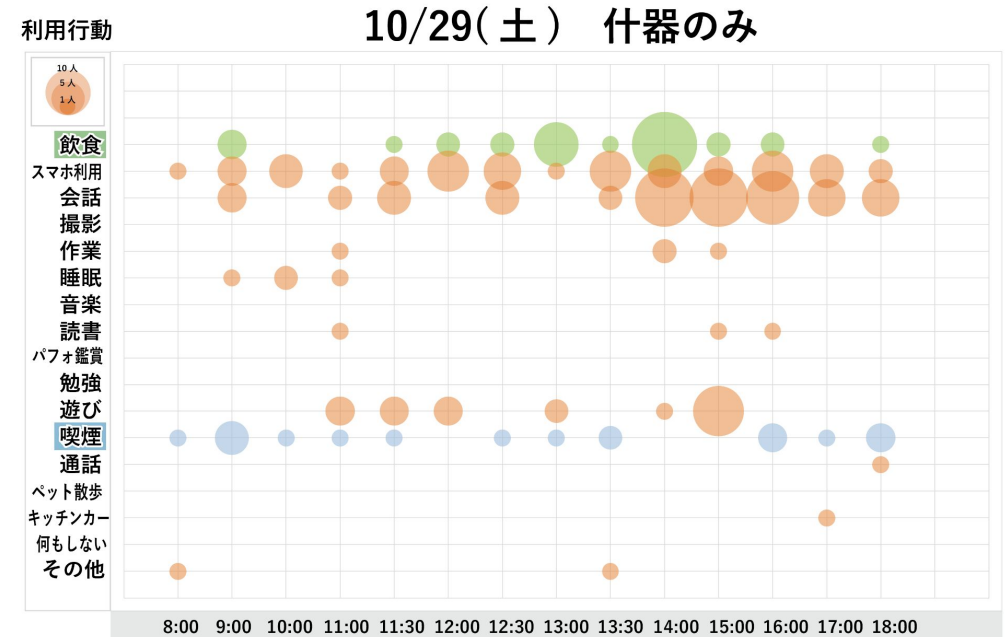
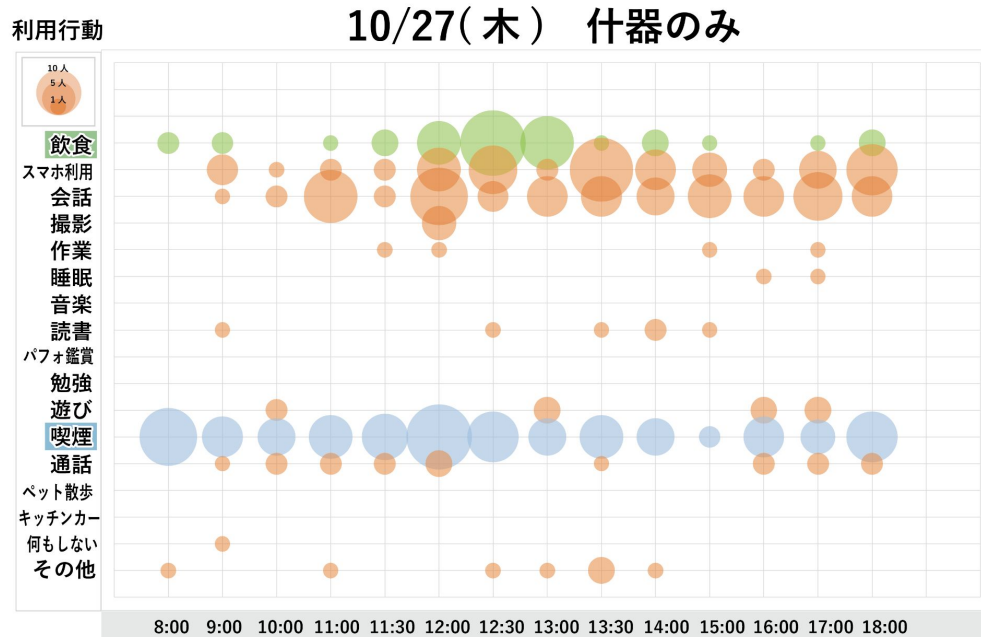
利用密度で比較すると、柵カウンターとハイスツールも多く利用されていることが分かりました。



既存ベンチ (黒い矢印) vs 仮設什器 (赤い矢印) の利用密度比較を示しています。

時間帯別に公園内の利用行動を調査しました

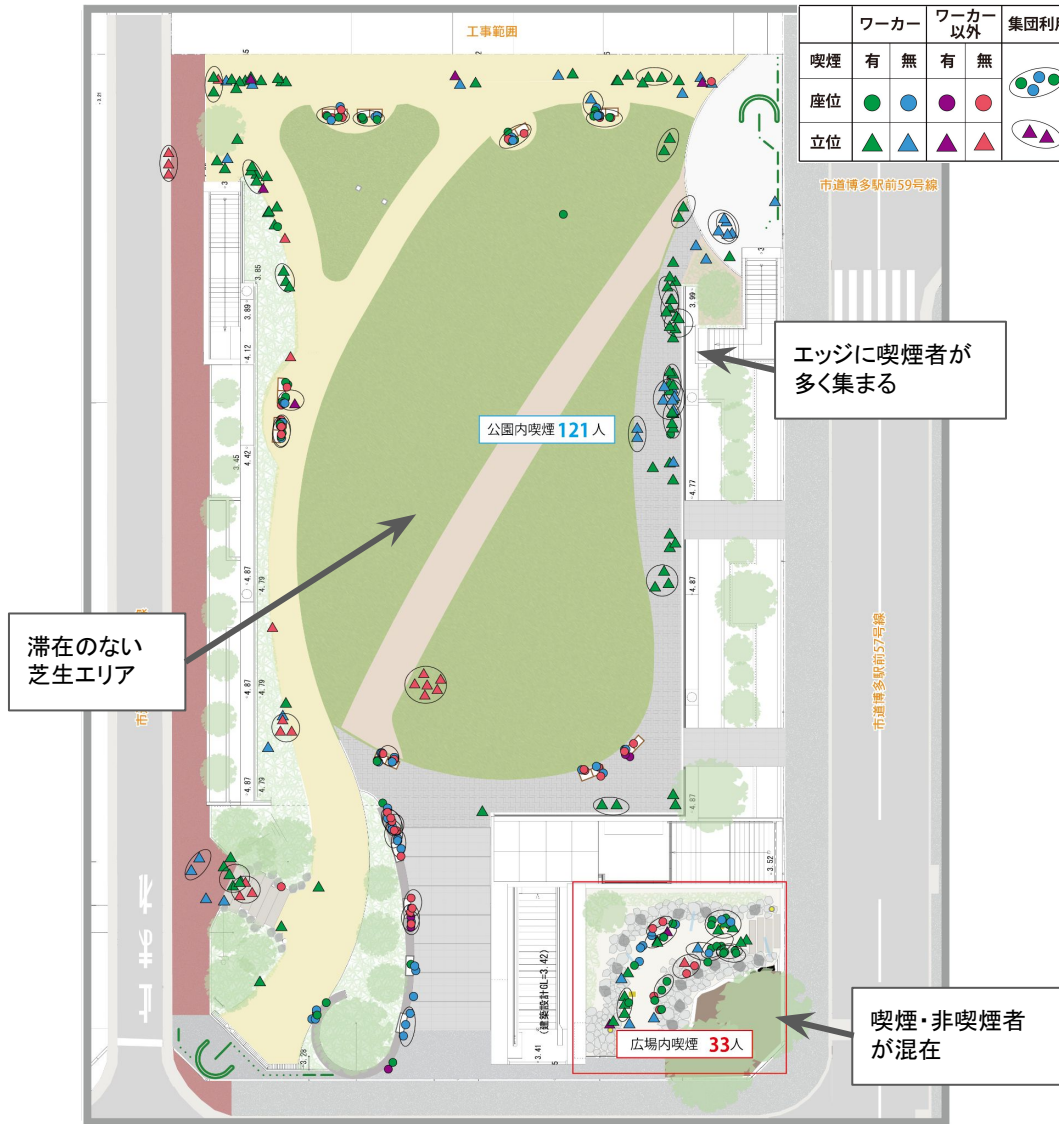




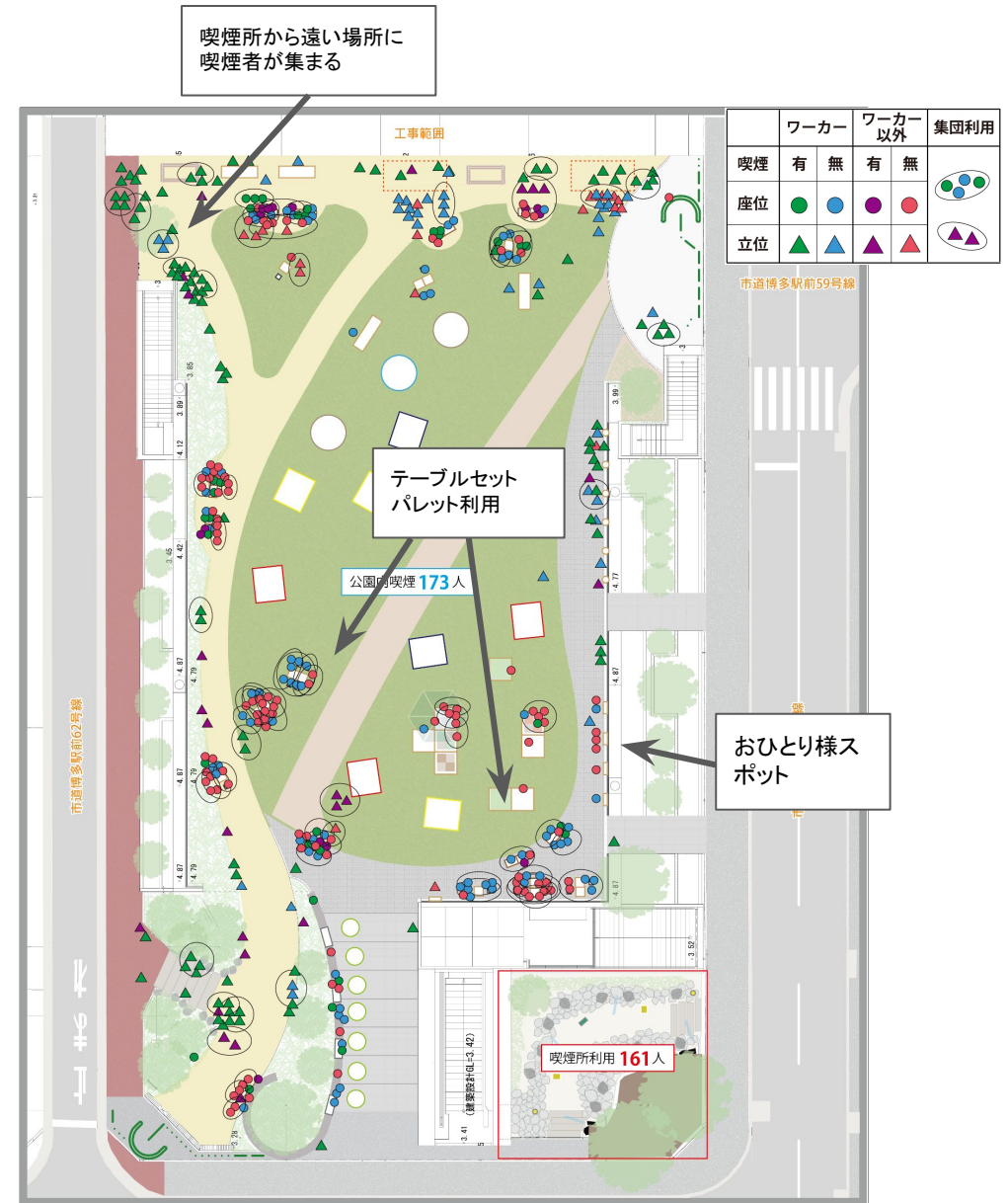
利用行動推移からわかる主な効果

- ・平日 **お昼の飲食利用**が増加した
- ・読書や睡眠を行う人が若干増加し、**行動の多様性**が生まれた
- ・喫煙者の数は日がたつにつれて減少し、特に**昼の時間帯の喫煙利用**が減少した
- ・**通勤、退勤の時間帯**は園内喫煙者の減少効果があまり見られなかった
- ・土日は喫煙利用がほとんどおらず、遊びや会話、飲食で利用する人が多く見られた。
平日以外もそれなりに需要があることが分かった

利用者の滞在場所を記録しました

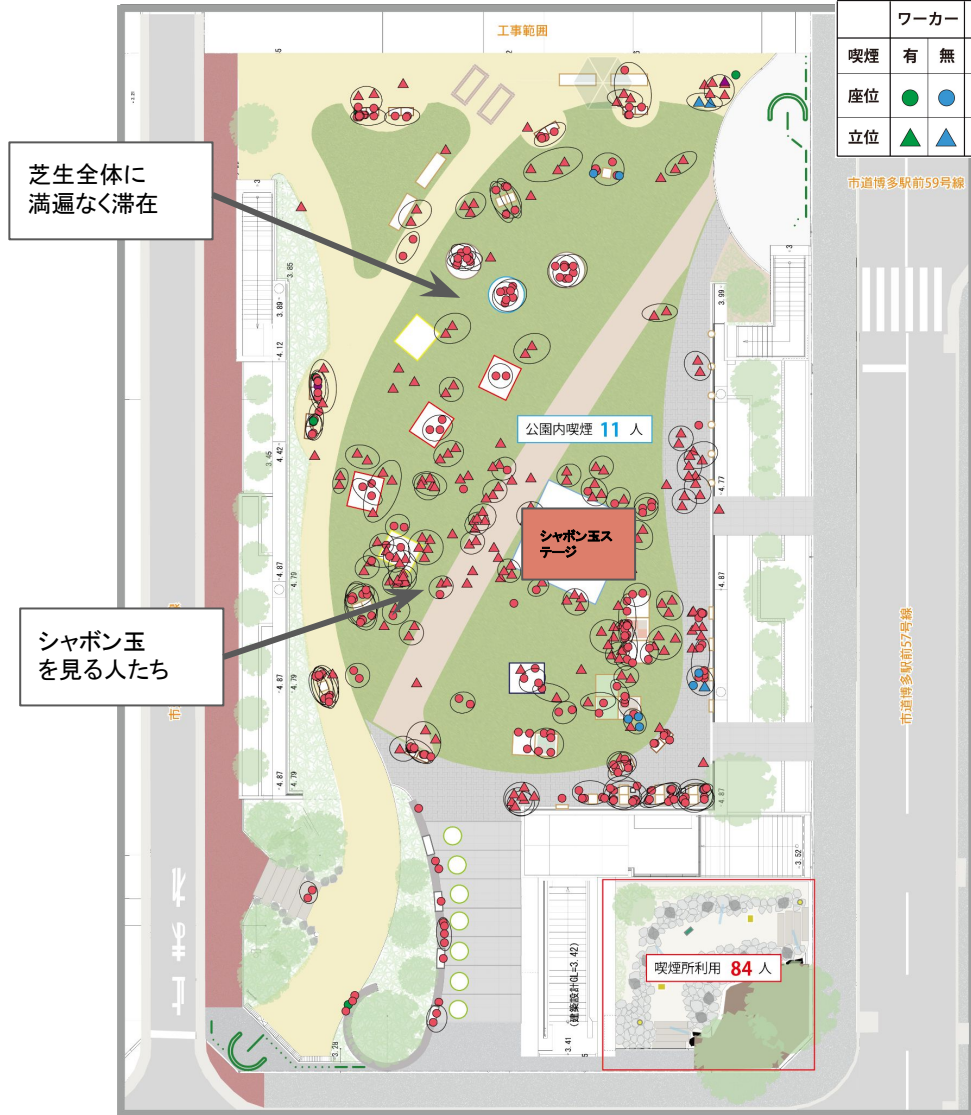


2021/10/28(木) 通常時

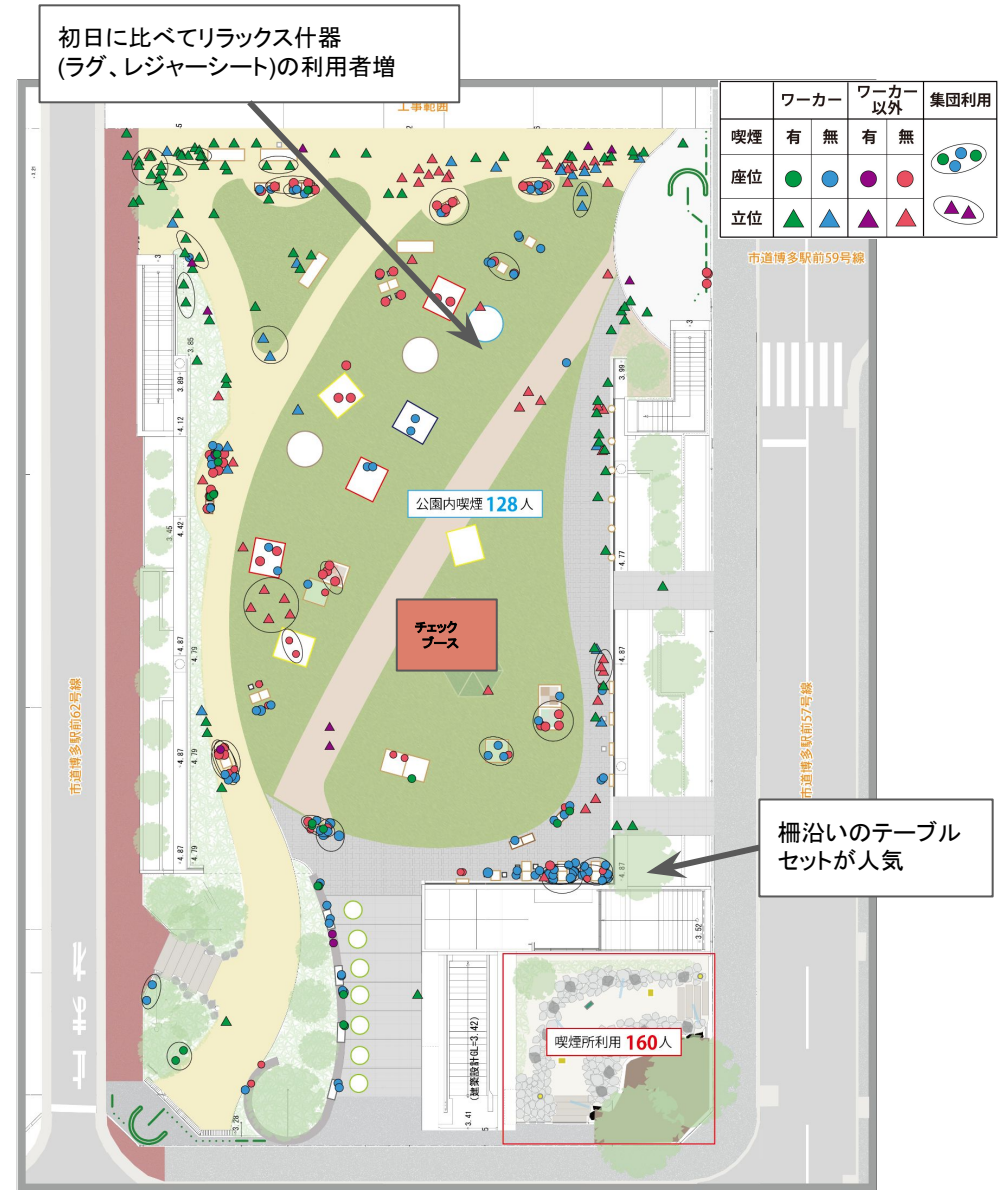


2022/10/20(木) キッチンカー

利用者の滞在場所を記録しました

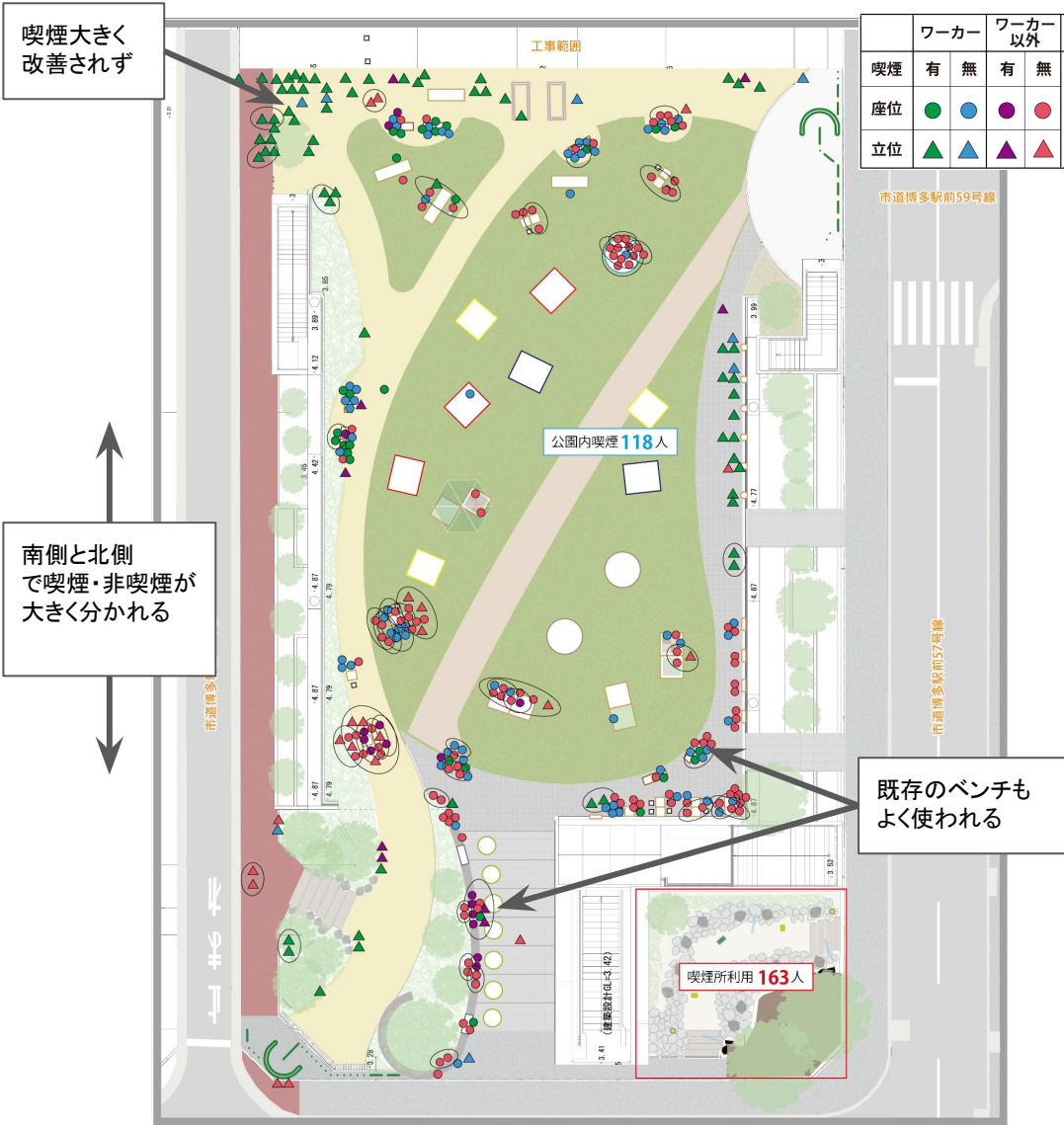


10/22(土) シャボン玉イベント

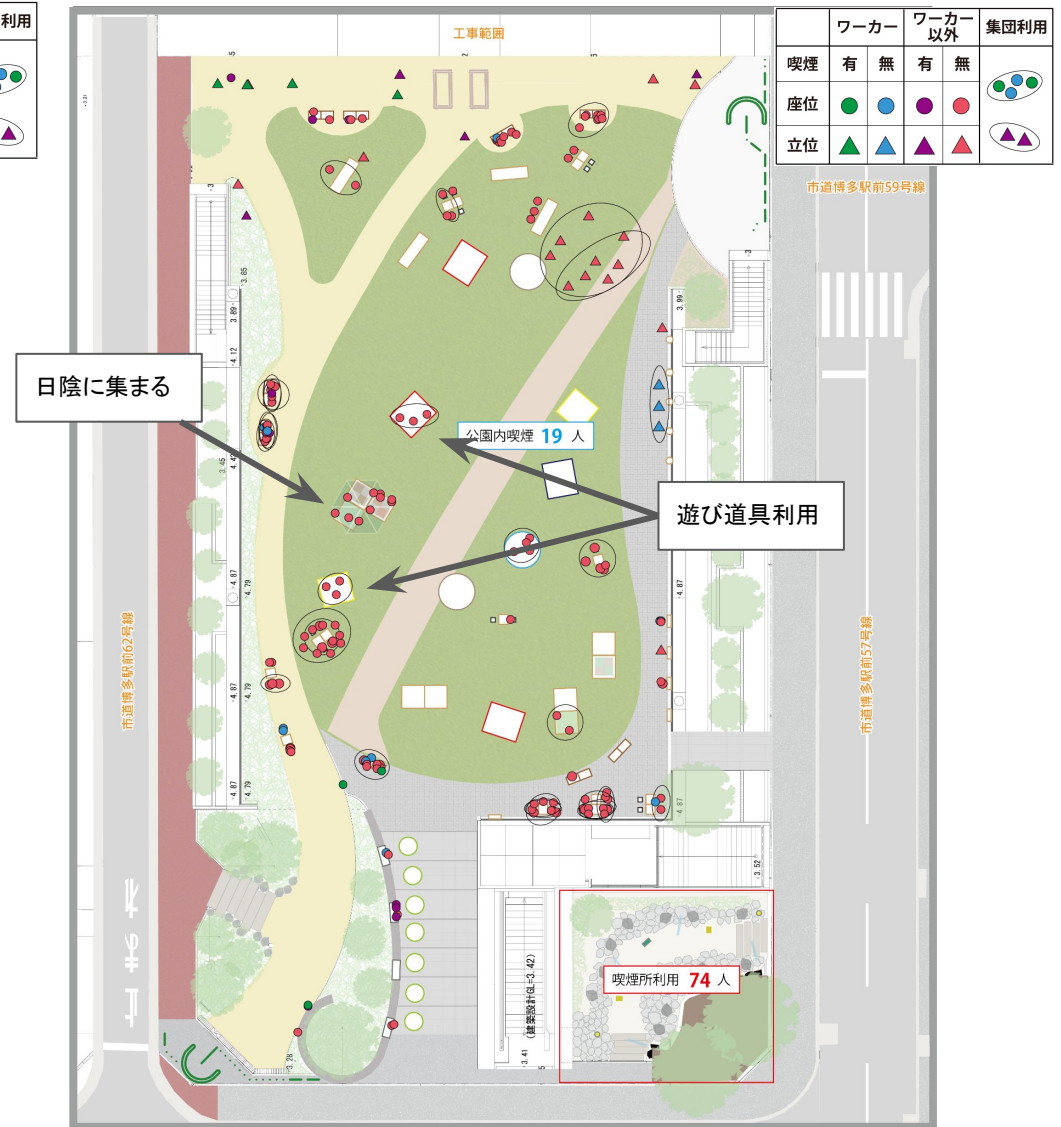


10/26(水) 健康チェックイベント

利用者の滞在場所を記録しました

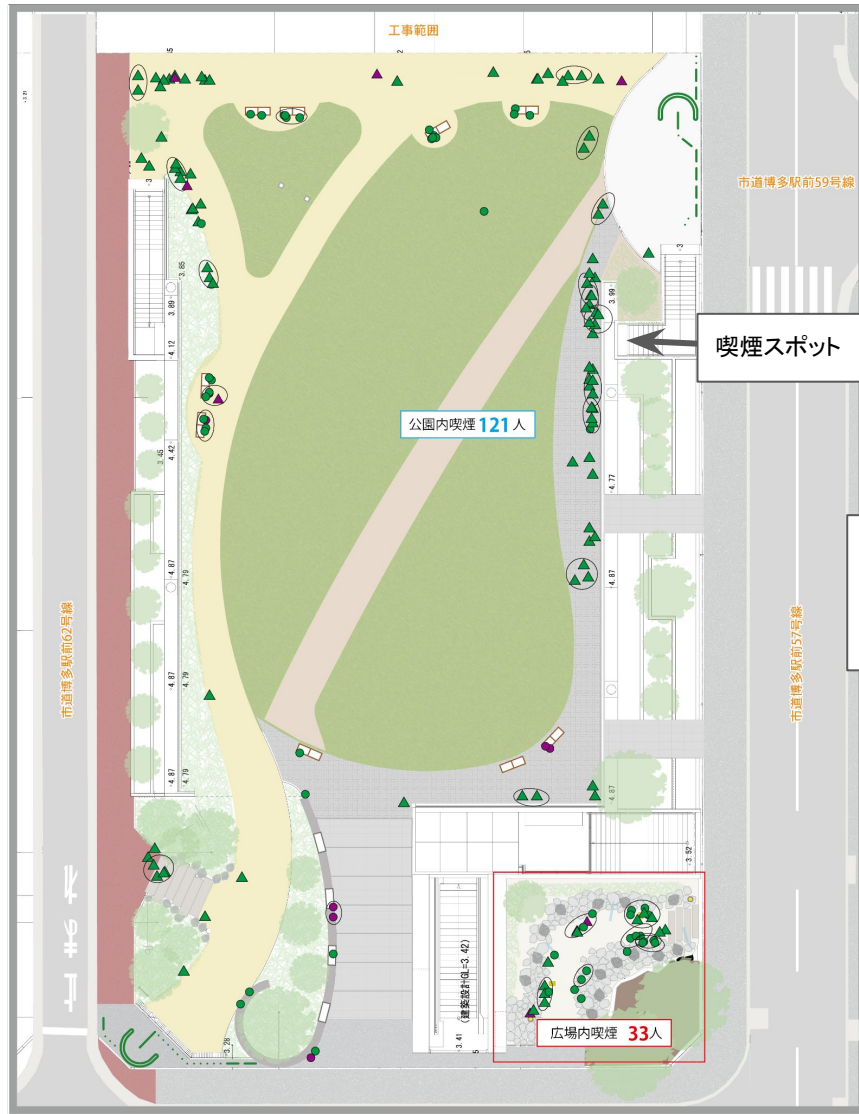


10/27(木) 什器のみ



10/29(土) 什器のみ

○ 喫煙者の分布を調査しました (調査日から一部抜粋)



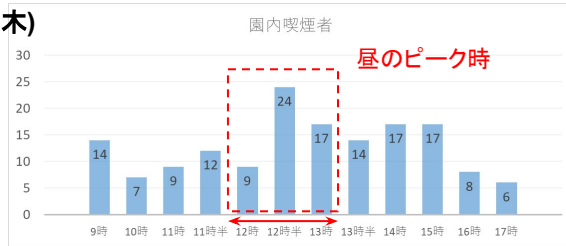
2021/10/18(木) 社会実験1年前



10/27(木) 什器のみ

○ 長期的に続けることで公園内の分煙を促進することができました

2021/10/18(木)



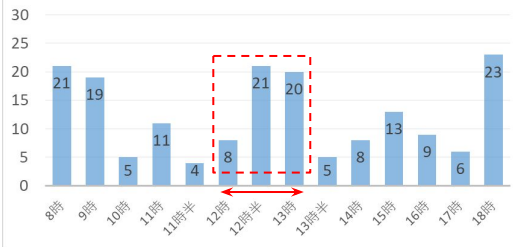
○平日

特に昼の時間帯に喫煙所が効果を発揮し、園内の喫煙者数を抑えることができた。

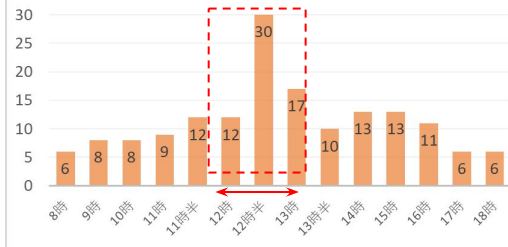
○休日

公園内での喫煙者はほとんど見られず、子どものための環境形成に寄与した。

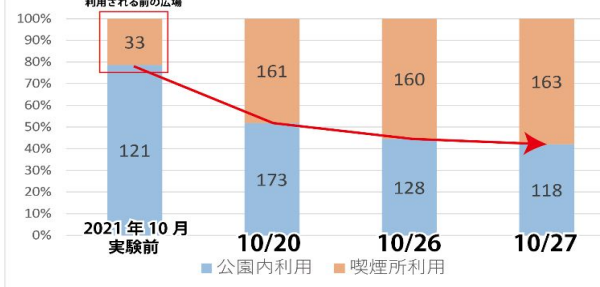
2022/10/20(木) 園内喫煙者



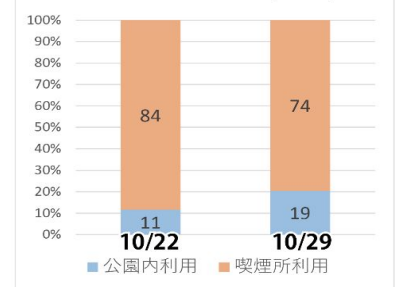
喫煙所利用者



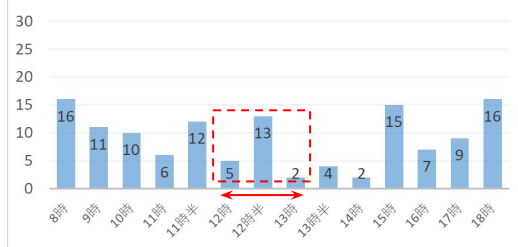
喫煙選択場所の比率(平日)



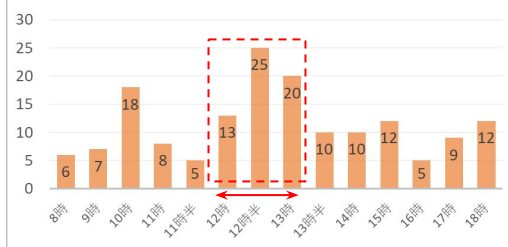
喫煙選択場所の比率(休日)



2022/10/26(水) 園内喫煙者

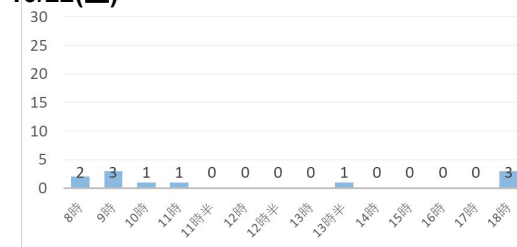


喫煙所利用者

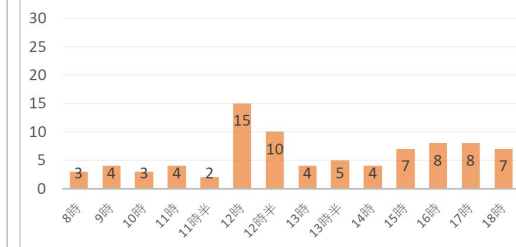


10/22(土)

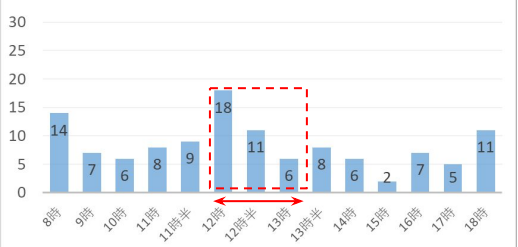
園内喫煙者



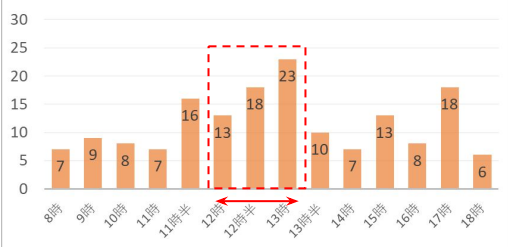
喫煙所利用者



2022/10/27(木) 園内喫煙者

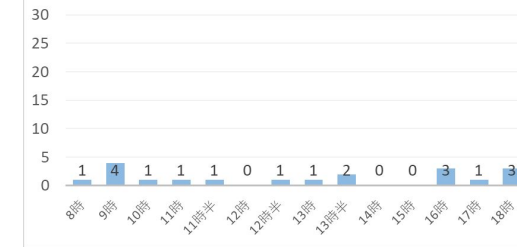


喫煙所利用者

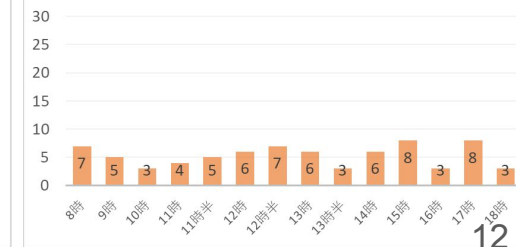


10/29(土)

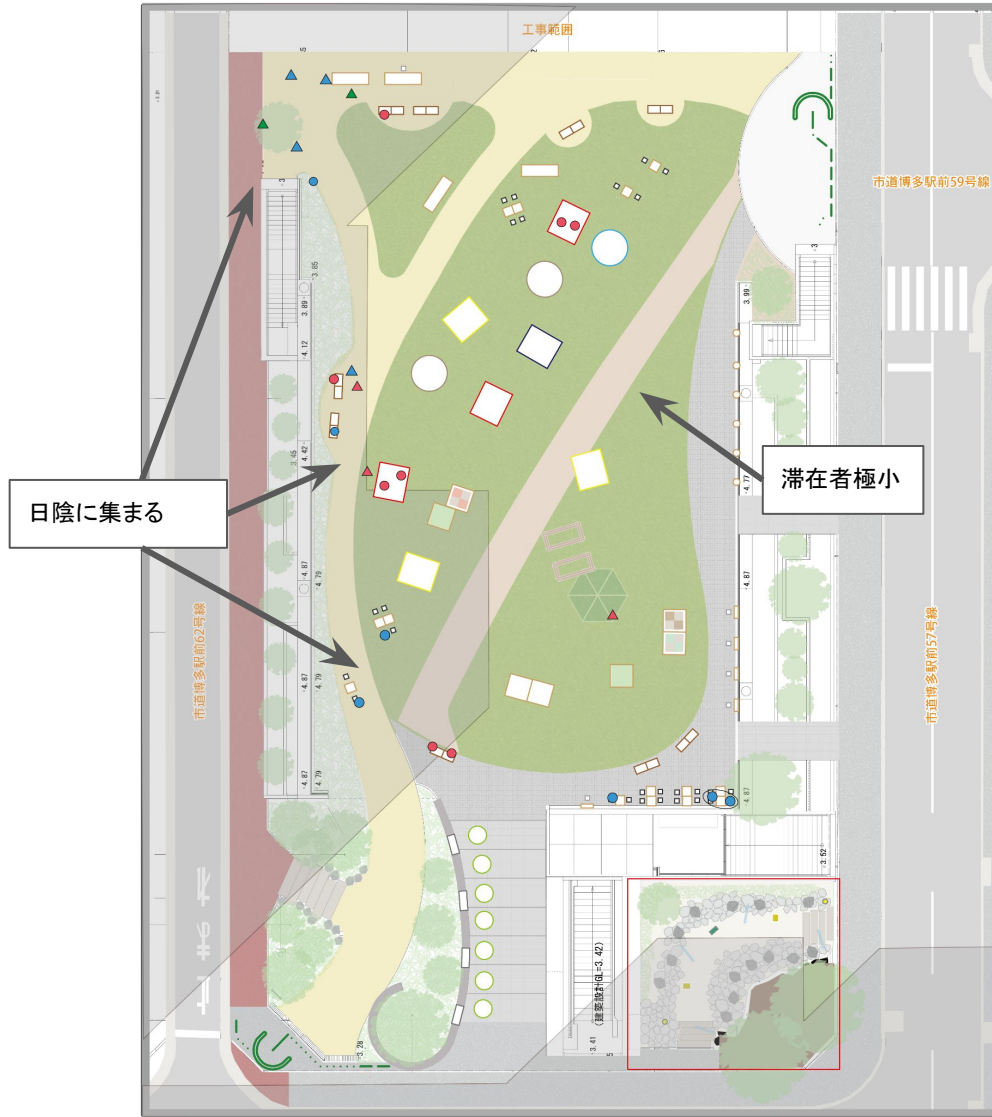
園内喫煙者



喫煙所利用者

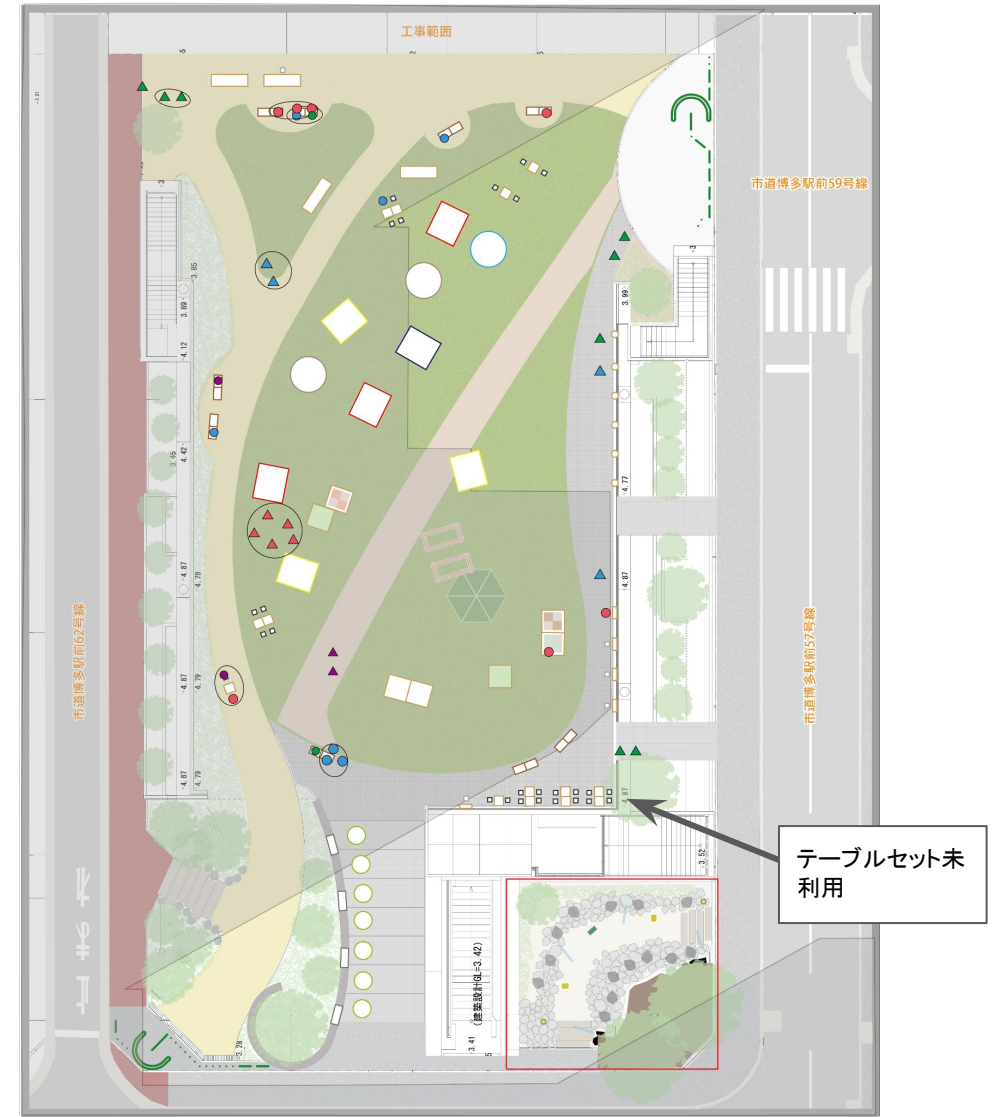


滞在場所の選択と日陰位置の関係を分析しました(快晴日 10/26 から抜粋)



10/26(水) 14時 日陰範囲

日陰16人 日向6人



10/26(水) 15時 日陰範囲

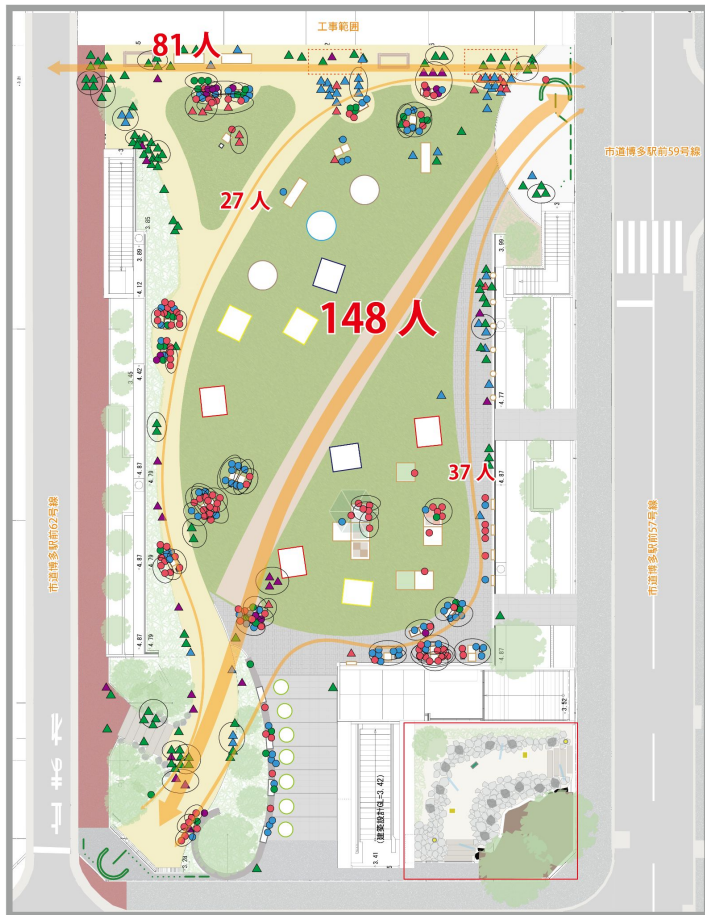
日陰31人 日向6人

ほとんど日陰のない12時から日が落ちる間にかけて大多数が日陰を選択→暖かい時期は昼の時間帯に対する日光対策が特に必要

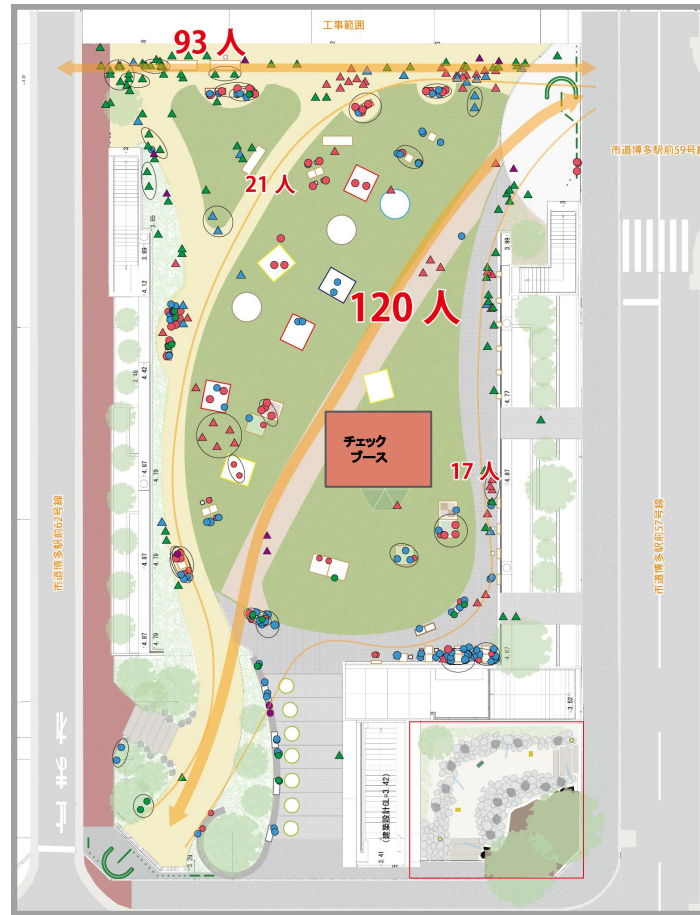
滞在場所の選択と通行量の関係进行分析しました(調査日から一部抜粋)

通行量の少ない道沿いの什器は使われやすいが、実験後半になるにつれて滞在者は比較的まばらに分布するようになった

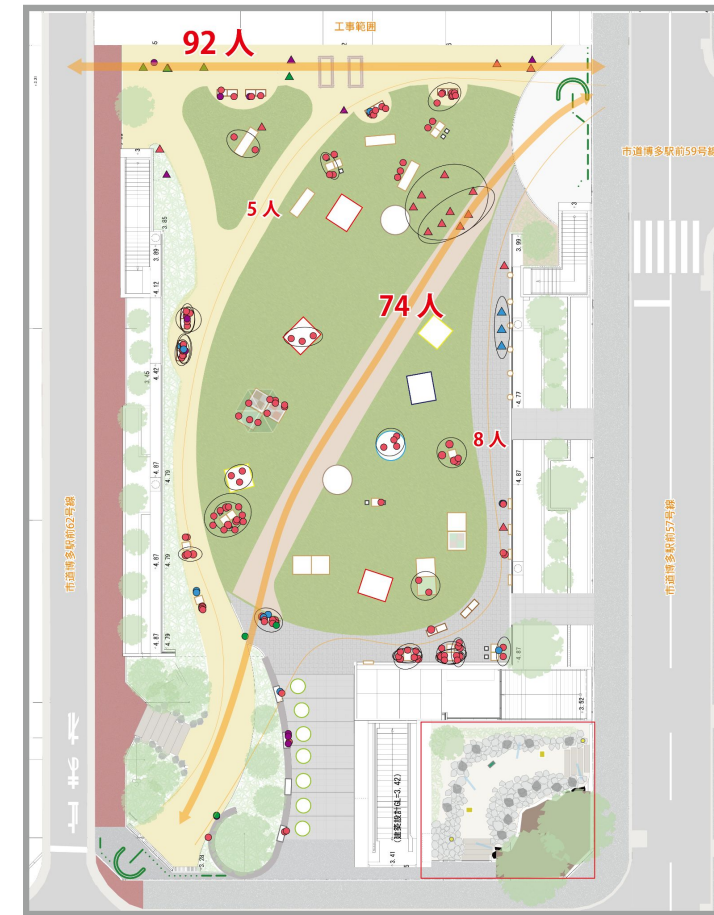
→通行量の多さによる滞在場所選択の影響はそこまで大きくない、また**拘きの自由度が高い什器(ラグやパレット)**の効果が高かったのではないかと考えられる



2022/10/20(木) キッチンカー



10/26(水) 健康チェックイベント



10/29(土) 什器のみ

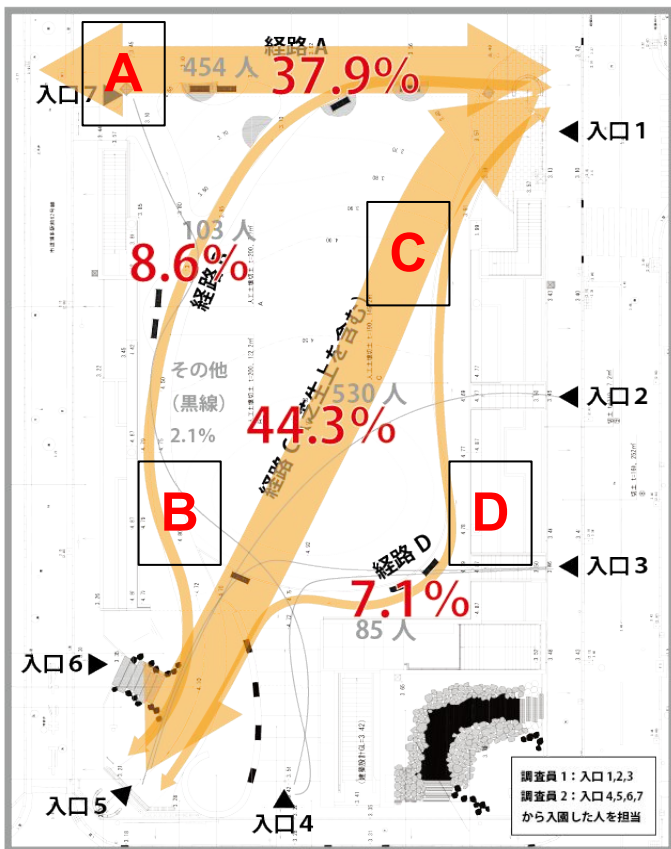
平日(芝生横断>北側通過)

休日(芝生横断<北側通過)

実験期間中 10/20(木)、10/22(土)、10/26(水)、10/27(木)、10/29(土)の5日間にわたって調査を行いました。

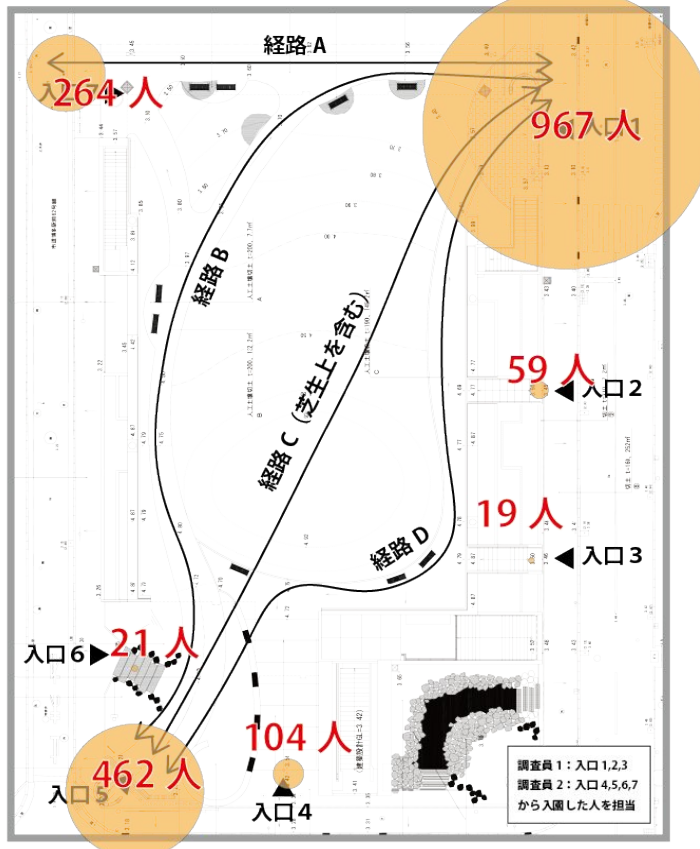
◻ 芝生の真ん中の道を通る人が多く、博多駅側の出入り口が最も使われていました。

経路調査



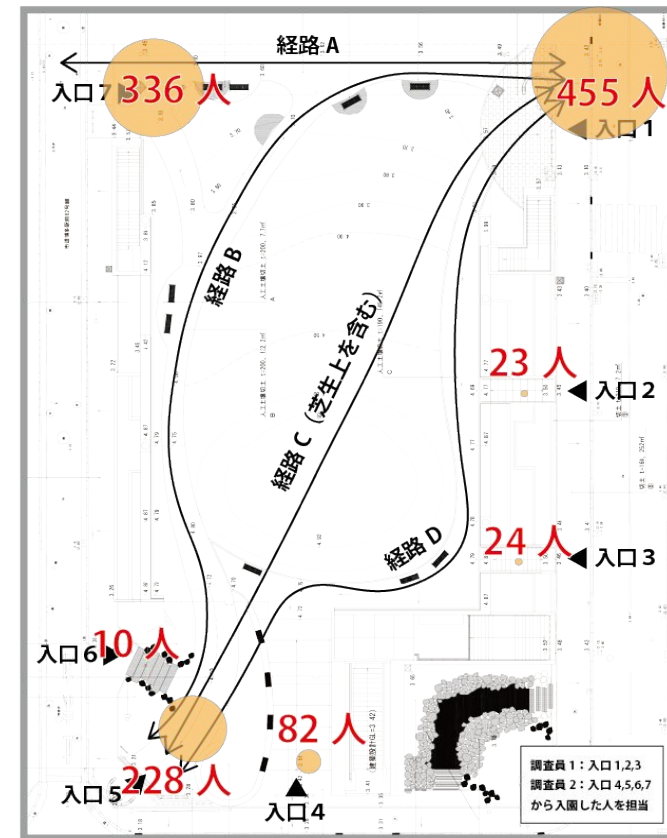
◻ 経路Aと経路Cが多い
経路A: 北側通過型
経路C: 芝生横断型

入り口調査



◻ よく使われる入り口: 1.5.7
◻ あまり使われない入り口: 2.3.6

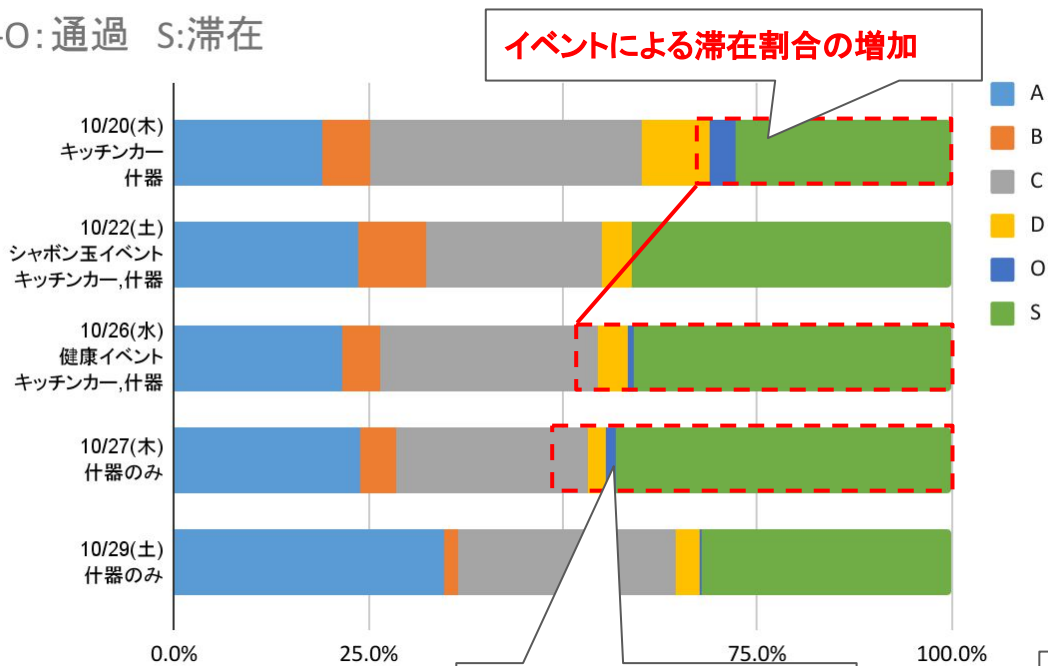
出口調査



◻ よく使われる出口: 1.5.7
◻ あまり使われない出口: 2.3.6

イベントや仕器の設置により、滞在する人の割合が増加しました。

A-O: 通過 S: 滞在

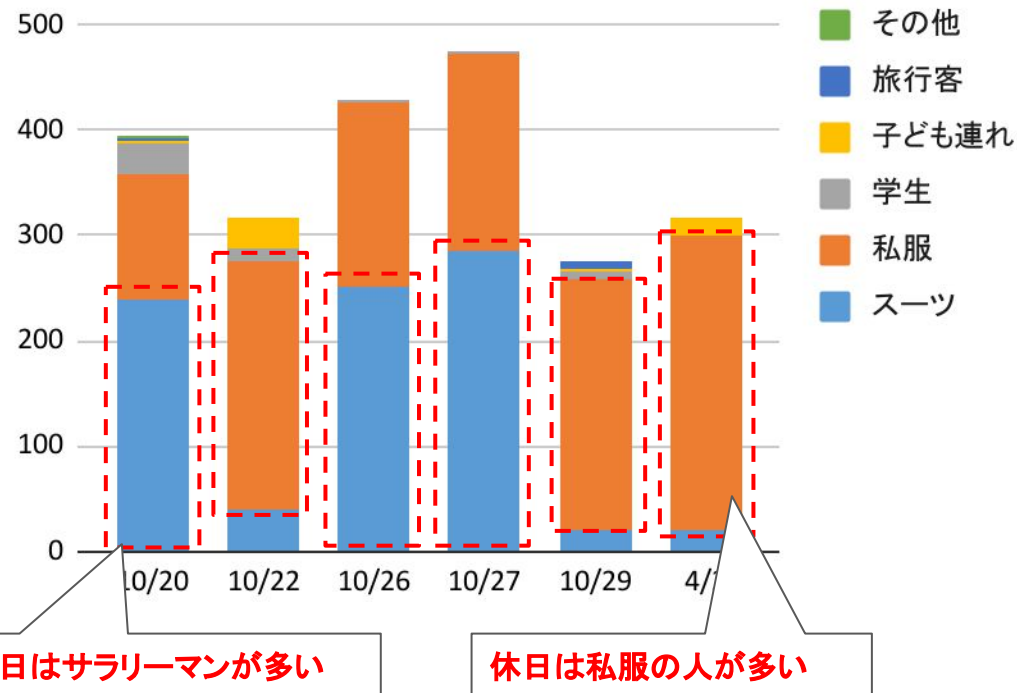


イベントによる滞在割合の増加

仕器のみでも滞在が増加

10/20(平日): 仕器+キッチンカー
10/22(休日): シャボン玉イベント+キッチンカー
10/26(平日): 健康イベント+キッチンカー
10/27(平日): 仕器のみ
10/29(休日): 仕器のみ

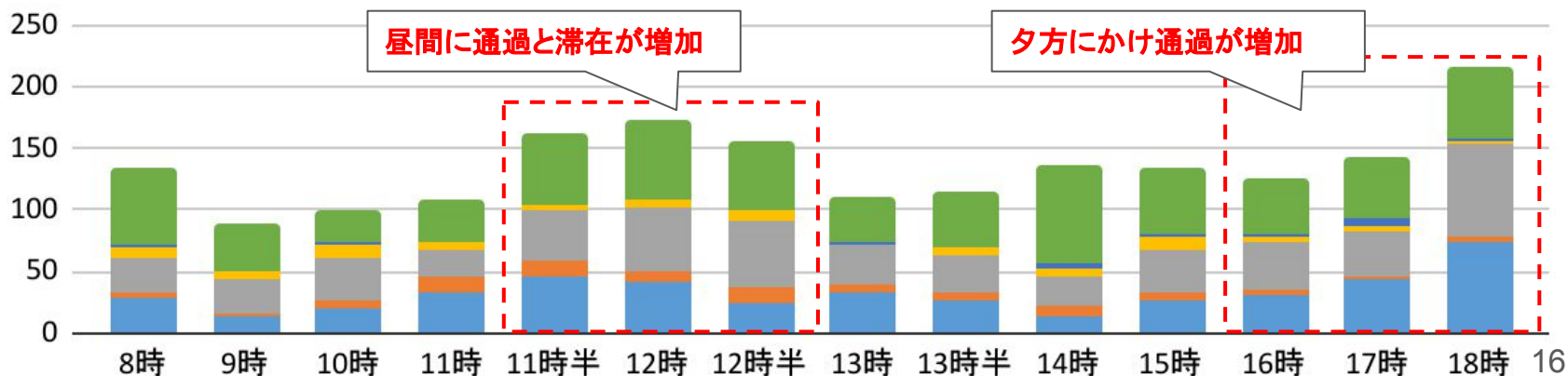
通過者属性



平日はサラリーマンが多い

休日は私服の人が多く

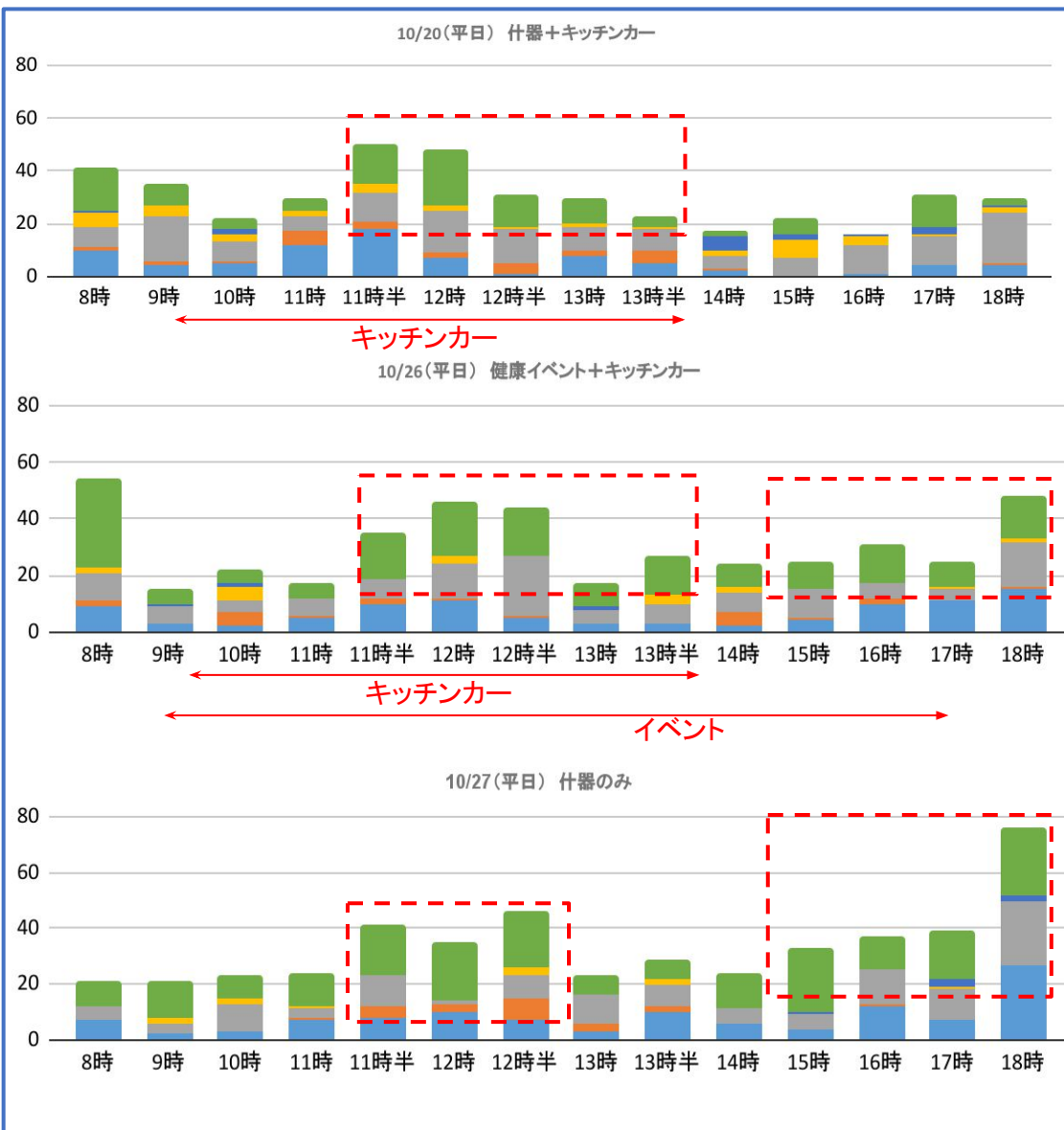
全体集計



昼間に通過と滞在が増加

夕方にかけて通過が増加

○全体的に昼間の滞在が多く見られ、イベントやキッチンカーの有無に応じて滞在者の数に変化。

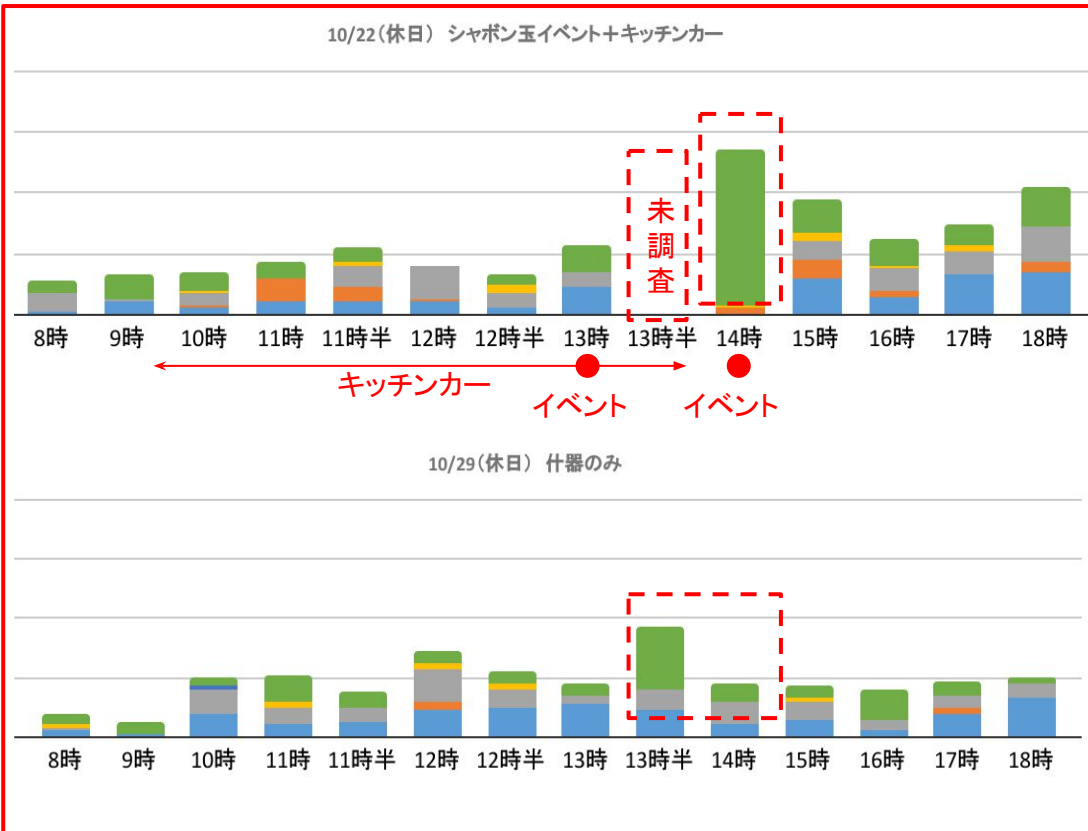


○平日

- ・サラリーマンが昼食時に利用するため、12-13時の滞在が多いと考えられる。
- ・平日は休日に比べ、夕方にも滞在者が多い。

○休日

- ・イベント時に滞在者が大幅に増加。
- ・真昼よりは昼過ぎごろに滞在が見られる。



平日



休日

○利用者アンケートを実施しました。

調査日: 10/22(土)~10/30(日)

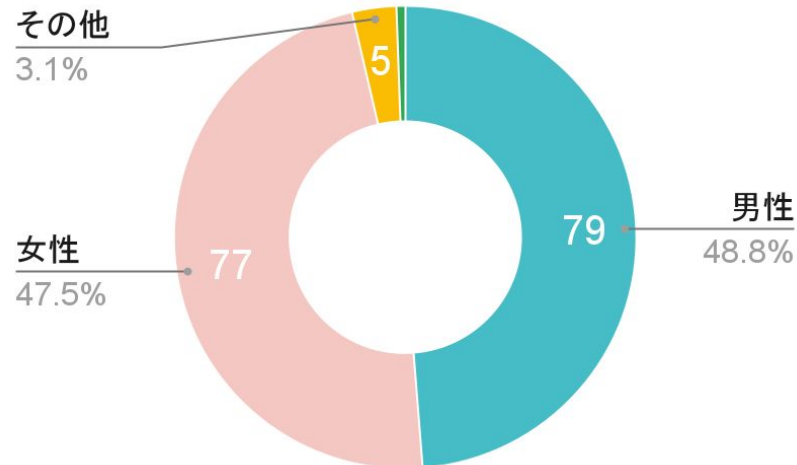
回答者数: 162人

集計方法: アンケート用紙、QRコードによるウェブ回答

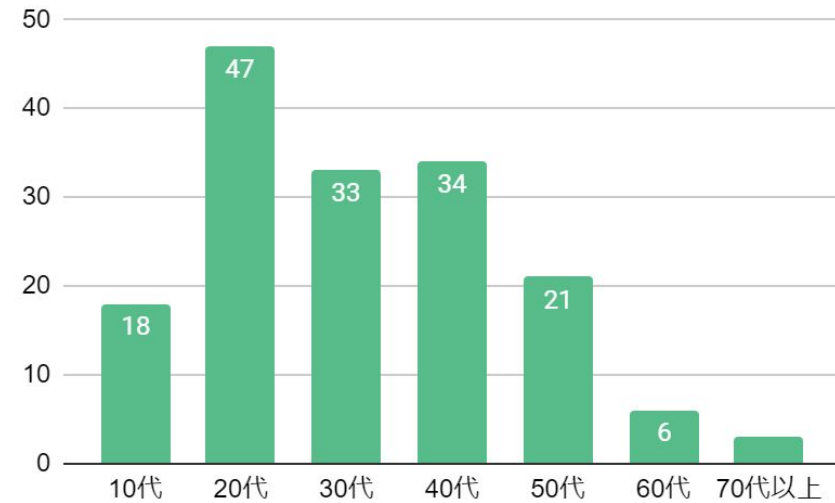


○回答者の属性

①性別



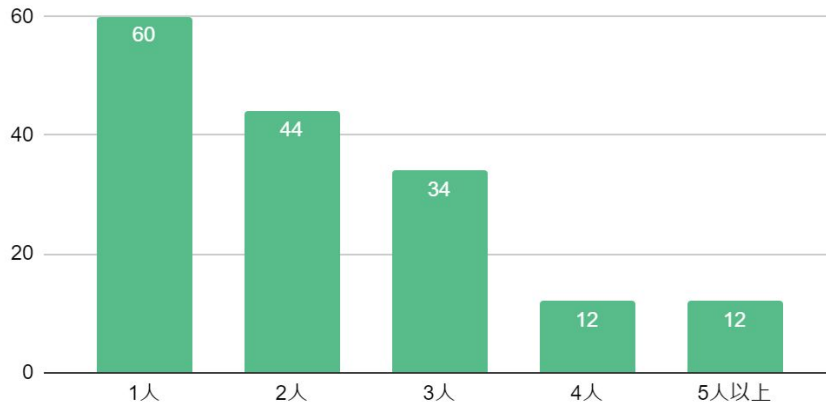
②年代



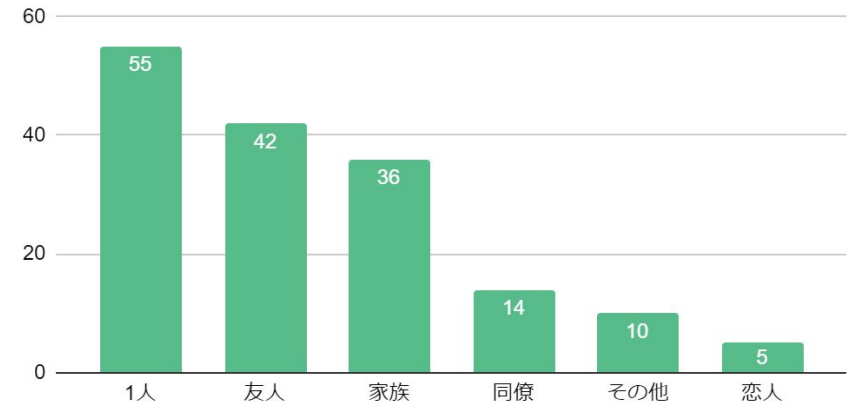
アンケート用紙

○利用者アンケートを実施しました。

③利用人数

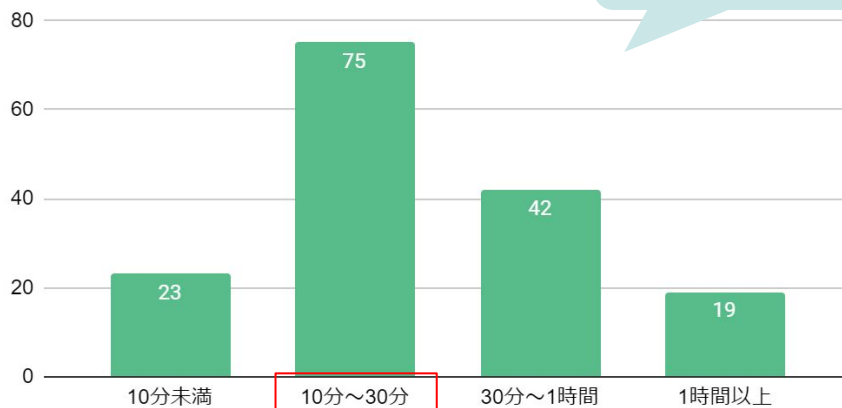


④同伴者との関係

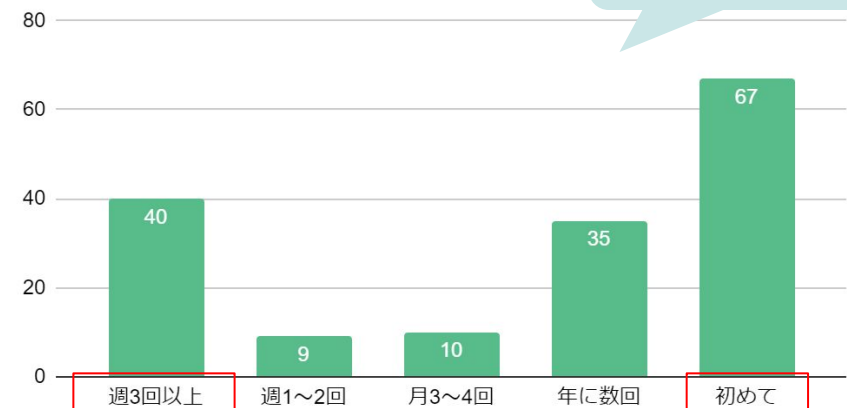


○来園者の利用実態

⑤利用者の滞在時間



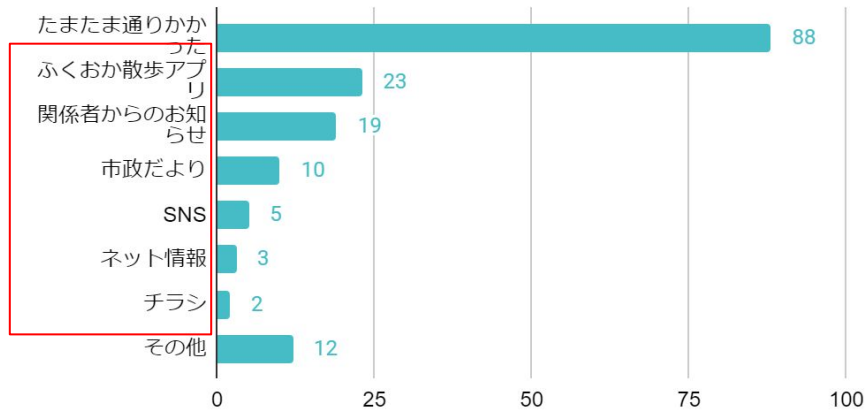
⑥明治公園を訪れる頻度



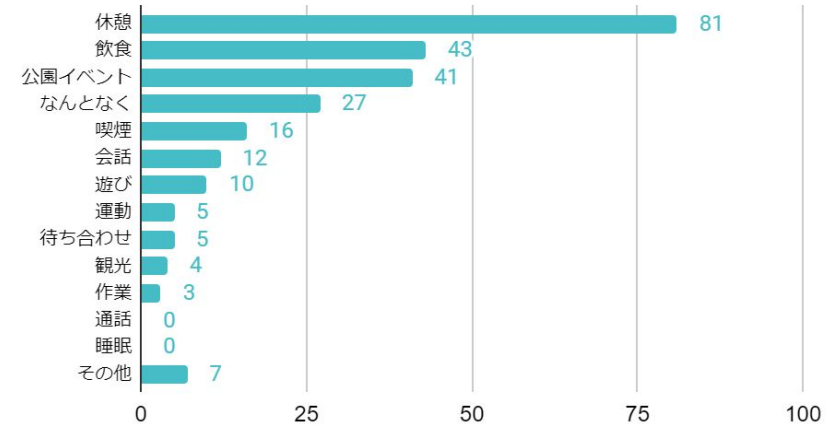
利用者アンケートを実施しました。

⑦訪れたきっかけ

様々な媒体による発信が
集客効果を発揮

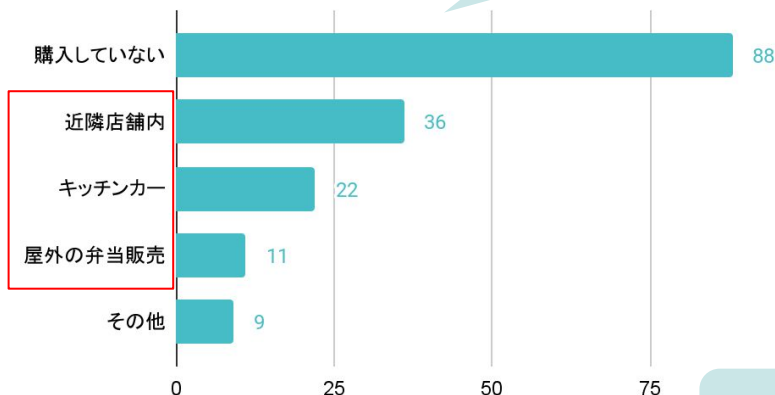


⑧公園の利用目的 (複数選択可)

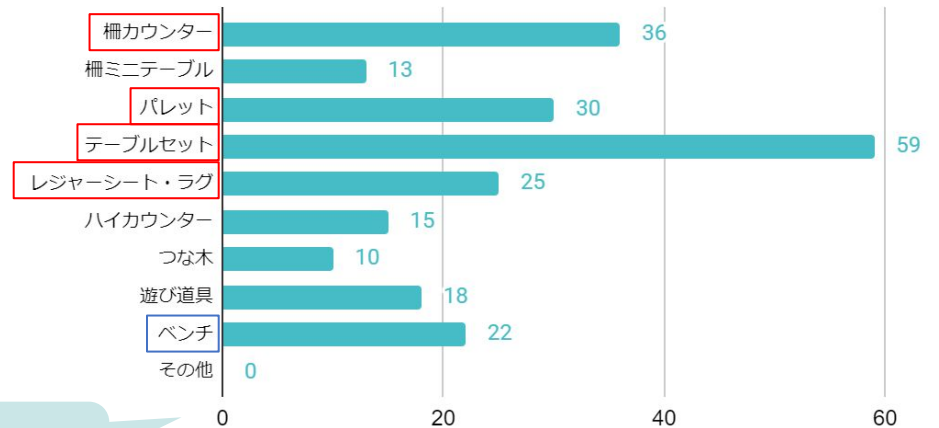


⑨飲食物の購買状況

約4割が飲食物を近くで
購入して来園



⑩お気に入りの家具 (複数選択可、使用家具は調査概要を参照)



既存のベンチより
人気の家具が4種類

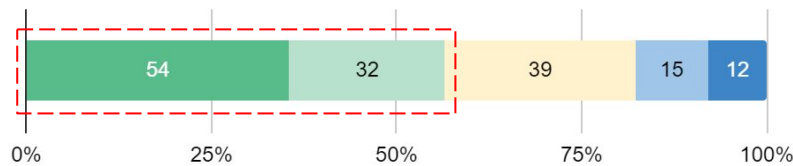
利用者アンケートを実施しました。

○実験内容や今後の公園に関するご意見

⑪喫煙所の設置について

57%の方が賛成

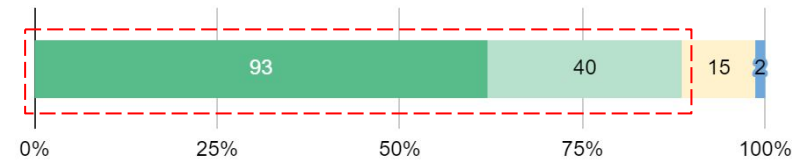
■ 大変良い ■ まあまあ良い ■ どちらともいえない
■ あまり良くない ■ 全く良くない



⑫キッチンカーの出店について

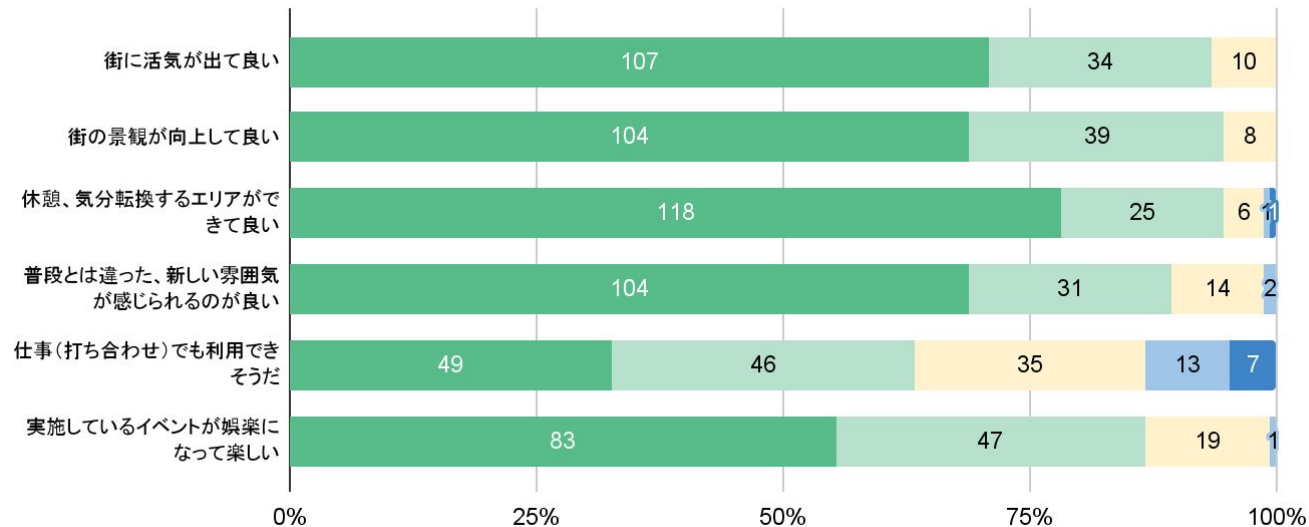
89%の方が賛成

■ 大変良い ■ まあまあ良い ■ どちらともいえない
■ あまり良くない ■ 全く良くない



⑬本実験の空間づくりに関する評価(5段階)

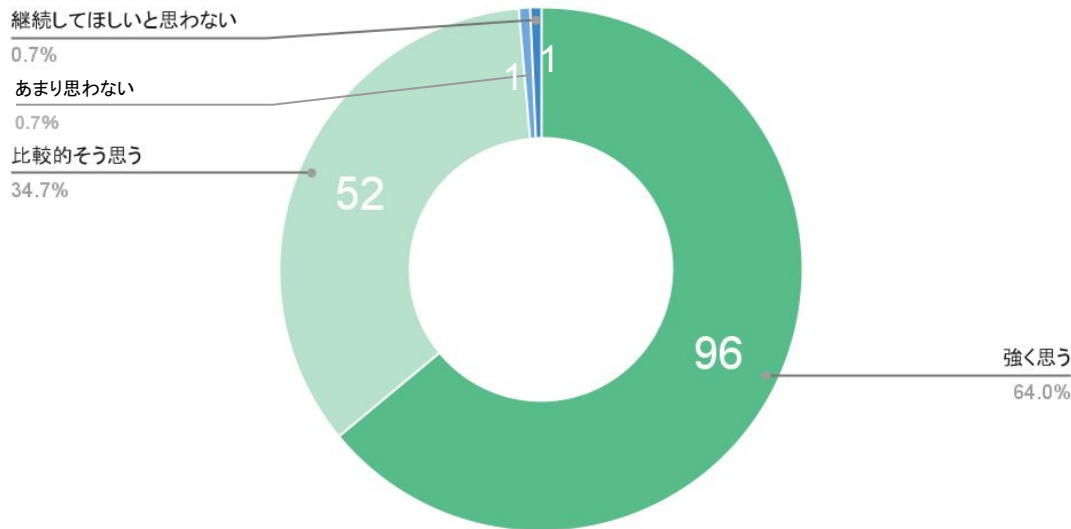
■ 当てはまる ■ やや当てはまる ■ どちらでもない ■ やや当てはまらない ■ 当てはまらない



○利用者アンケートを実施しました。

○実験内容や今後の公園に関するご意見

⑭ 今後も継続してほしいか



改善してほしい点

- ・喫煙・飲食で**利用する人のマナー**がとても悪い。
- ・今は指摘されていないが、しっかり「**禁煙**」と書かなければ家族が近寄らない。
- ・タバコのポイ捨てが減ったのは良いが缶やペットボトルのゴミも目立つため、**ゴミ箱**を設置したら良いと思う。
- ・日陰が少ないため**屋根**を付けてほしい。

継続してほしい理由

- ・より**皆のための憩いスペース**になるから。
- ・快適でリフレッシュできるから。
- ・博多区は**子供が参加できるイベントや遊べる公園が少ない**から。
- ・普段あまり利用されておらず公園がどんどん廃れていくから。
- ・ただの公園にするだけじゃ勿体無いと思ったから。
- ・賑わっているとふらっと寄りたくなるから。
- ・**大人も子どもも楽しめたり気分転換できたりする場所**があるといいなと思うから。
- ・すごく便利になり公園内でも過ごしやすくなったから。
- ・近くの**学校に通う人たちの休憩場所**になるから。
- ・怪しげな人々がたむろしているイメージが強いため。
- ・近くに**喫煙所が少ない**ため。
- ・普段使わない公園だが、来てみるいい機会になった。都心部にこういう場所が増えると、みんなの居場所が増えていい。
- ・暗いイメージがあるので**イベントがあると明るくなっていい**。
- ・近くで働いているが、殺風景だった公園が活気に満ちていて通るたびに嬉しくなる。社内でも今日は何やってるかな？と話題になった。
- ・キャナルの帰りに寄った。子供と博多駅に来たとき屋上で走らせたりするが、**ここで走り回らせたらいいなと思った**。広い気分転換できそう。
- ・近所に住んでいるため、屋内だけでなく屋外でこのような解放感のある場所が増えてくれるのはとても嬉しい。
- ・まちの防災機能としても寄与すると思う。

調査分析結果を踏まえた明治公園の課題

○調査結果の分析を踏まえて

①イベントやキッチンカーの集客効果

- ・休日とは何かしらのイベントを行った方が集客につながる。→子ども向けイベントの集客効果あり
- ・平日はイベントの開催よりも、キッチンカーによる集客が見込まれる。
- 昼食を公園で食べるように仕向けることで集客が見込める。

②什器(屋外家具)により公園内の滞留が増加

- ・柵カウンターやハイテーブルはハイスツールとセットの方が利用されやすく、座具の需要はかなり高いと考えられる。
- ・ラグやレジャーシートも実験後半にかけて利用が増えたので、継続的に置いて利用の心理的ハードルを下げる必要がある。
- 雨天時の対応もあるので、貸出形式でも可
- ・ワーカー等のおひとり様利用しやすい什器、グループや家族が過ごせる什器など多様な属性に配慮したデザインがあることでさらなる利用促進につながる。→利用ニーズに応じた什器の設置を検討

③分煙を行うことで公園の利活用が促進

- ・利用行動、居場所調査から分煙を行うことは公園内の行動多様性につながる1つの要因になったといえる。さらに継続的に続けることでその効果が大きくなったことから、公園利活用促進には分煙の取組みが必要である。
- ・分煙の取組みによって、入り口に集まっていた喫煙者を減らすことができたため、公園への入りやすさ向上、周囲から見た公園のイメージ転換にもつながると考えられる。

④公園内のデザインの改良

- ・昼間でも公園利用者が居心地よく滞在できる日陰空間(屋根、東屋、バーゴラ、植栽など)の整備が必要である。
- ・公園内を通過する際に芝生を横切る人が多いため、公園再整備後も芝生内の横断経路を想定した舗装等の検討が必要である。

○長期社会実験を踏まえた明治公園の運営課題・気づき

○公園内設備について

- ・恒常的な賑わいのために、給排水、電源等のインフラが必要(キッチンカー、イベント時に必要)である。
- ・イベント時や天候変化に備え、公園内に什器保管等が可能な**公園活用団体向けの倉庫**が必要である。
- ・地下駐輪場に設置されているトイレは利用率が低く、階段からしかアクセスできないため**バリアフリートイレ(身障者対応)**を新たに設ける必要がある。

○什器(屋外家具)について

- ・日常利用のポテンシャルは非常に高く、特にテーブル・イスはかなり多く設置しても良い。
- ・柵ミニテーブルやハイカウンターなどはおひとりさま利用の什器として効果的であったが、立ち利用が可能なため喫煙者にとっても居心地がよい場所となっている問題がある。
- ・ラグはフワフワで座り心地がいいが、レジャーシートは薄かったため利用する際に地面の硬さが伝わってしまった。
→芝生での座位利用什器は厚めの素材を適切に選択する
- ・什器に機能性(荷物フックがついている等)があるとさらに利用が促進される可能性がある。
- ・什器の安全性について、想定外の利用の可能性を考慮しておく(テーブルの足に体重をかける、柵カウンターの上に乗る、タバコをこすりつける等)。
- ・ゴザやラグ、ブランケット等の利用者も多く、貸出の仕組みを設けても良い。
- ・天気による管理マニュアルを作っておく(雨によって常設什器が濡れてしまったとき、または前日の降水確率1%以上の時は乾きにくい什器を片づけるなど)。
- ・屋外に放置することで什器の劣化が進みやすいので、公園に常設する場合は防水対策をしておく。もしくは乾きやすい什器を選択する。
- ・常設什器の維持管理を安全に続けていくために、チェックリスト(設置数、交換基準、担当者名の記入)を作る必要がある。
- ・**誰がどの程度の頻度で管理できるか**を明確にして常設什器の内容を決める必要がある。

○分煙について

- ・飲食が盛んな時間帯は喫煙者も分煙の配慮意識が高いが、朝や夕方の什器利用が少ない時間帯は、ほとんど意味をなさないこともあった。
喫煙所設置に当たって視認性やサイン設置等による誘導があると良い。
- ・公道へのおいがはみ出していることに不快感を示す声がみられた。
→分煙を行う際はパーテーションなどで道路や公園内双方への配慮が必要(**閉鎖された喫煙所が良いのではないか**)
- ・ゆとりのある面積、充実した木陰、デザイン性のある灰皿などによる喫煙空間の居心地向上も分煙の促進につながった要因であると考えられる。

○長期社会実験を踏まえた明治公園の運営課題・気づき

○実施したイベントについて

①キッチンカー

- ・キッチンカー業者としては、「出店料があっても出店したい」との声が多くあがった→キッチンカーから出店料を頂き、吸い殻回収や什器の費用に賄うなど、公園の**維持管理費用を確保する仕組みをつくる**ことができるのではないか。(park-PFIに似たもの)
- ・利用者が多く面積が限られた公園のため、Park-PFI等を検討する際も、大きな建屋ではなくキッチンカースペースや屋外飲食空間が共存した環境があることが望ましい。(民間事業者にはキッチンカー業者も取り入れるなども一つの選択肢)
- ・**公園環境やイベント内容に応じたキッチンカーを選択**することで効果的な売上が見込める。

②子ども向けイベント(シャボン玉、参加型アートイベント)

- ・シャボン玉イベントは、シャボン液がこぼれない工夫やそのあとの芝の整備を考える必要がある。
- ・イベントがある日はパフォーマンスがないときも僅かに聞こえるぐらいの音楽だけでも流れていると良い。
→**音楽は雰囲気づくりに効果的である**
- ・休日は午前より午後のほうがイベント・通常利用ともに人が集まりやすい。
- ・参加型のイベントでは、起爆剤としてデモンストレーションや関係者の招待が大事である。
→イベントを周知させる工夫(看板、広告など)
- ・雨天時のイベントの対応について、公園入口にイベントの再開時間を知らせる看板を置くなどして利用者への情報伝達に力を注いでおく必要がある。

③健康イベント(カゴメベジチェック、タニタ体組成計)

- ・ワーカーよりも**地域の高齢者、地元住民を多く集める**ことができた。
- ・ブースの位置が公園の真ん中にあると注目を浴びやすいが、利用者が周りの目を気にしてしまうため人が集まりにくい。
→来る人はタニタ健康イベントを目当てにしている人が多かったので、行列を確保するスペースがあれば公園の端でも可。